



METROLOGIC INSTRUMENTS, INC.

MetroSelect[®]

設定ガイド

所在地

北米コーポレート本社

米国、ニュージャージー

Metrologic Instruments, Inc.
Tel: 1-800-ID-METRO Fax: 856-228-6673
Email: info@metrologic.com

中南米

ブラジル、サンパウロ

Metrologic do Brasil Ltda.
Tel: 55-11-5182-8226 Fax: 55-11-5182-8315
Email: info@br.metrologic.com

ブラジル、サンパウロ以外

Metrologic South America
Tel: 55-11-5182-7273 Fax: 55-11-5182-7198
Email: info@sa.metrologic.com

アジア本社

アジア、シンガポール

Metrologic Asia (Pte) Ltd
Tel: 65-6842-7155 Fax: 65-6842-7166
Email: info@sg.metrologic.com

中国、蘇州

Metro Technologies Co., Ltd.
Tel: 86-512-62572511 Fax: 86-512-62571517
Email: info@cn.metrologic.com

Metro (Suzhou) Sales Office
Tel: 86-512-67622550 Fax: 86-512-67622560
Email: info@cn.metrologic.com

Guangzhou Sales Office
Tel: 86-20-38823476 Fax: 86-20-38823477
Email: info@cn.metrologic.com

Beijing Sales Office
Tel/Fax: 86 10 82253472
Email: info@cn.metrologic.com

日本、東京

メトロロジック・ジャパン株式会社
Tel: 81-03-3839-8511 Fax: 81-03-3839-8519
Email: info@jp.metrologic.com

インド、バンガロール

Metrologic India
Tel: +91 80 51256718 Fax: +91 80 51256719
Email: info@in.metrologic.com

著作権

© 2005 by Metrologic Instruments, Inc. により著作権は保有されています。書評家が書評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしにこの著作の一部をどのような形式であれ、任意の手段によって再生、送信、保持することはできません。

本書に記載の製品名および商標名はそれぞれの会社の登録商標です。

欧州/中東/アフリカ本社

ドイツ、ミュンヘン

Metrologic Instruments GmbH
Tel: 49-89-89019-0 Fax: 49-89-89019-200
Email: info@europe.metrologic.com

ドイツ/オーストリア/スイス

Tel: 49-89-89019-0 Fax: 49-89-89019-200
Email: info@de.metrologic.com

東欧/中東

Tel: 49-89-89019-222 Fax: 49-89-89019-173

イタリア、ボローニャ

Metrologic Instruments Italia srl
Tel: +39 0 51 6511978 Fax: +39 0 51 6521337
Email: info@it.metrologic.com

フランス、パリ

Metrologic Eria France SA
Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78
Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94
Email: info@fr.metrologic.com

スペイン、マドリッド

Metrologic Eria Ibérica, SL
Tel: +34 913 272 400 Fax: +34 913 273 829
Email: info@es.metrologic.com

Metrologic Europe Repair Center (MERC)
Metrologic Eria Ibérica, SL
Tel: +34 913 751 249 Fax: +34 913 270 437

英国、ベイジングストーク

Metrologic Instruments UK Limited
Tel: +44 (0) 1256 365900
Fax: +44 (0) 1256 365955
Email: info@uk.metrologic.com

ロシア、モスクワ

Metrologic Russia
Tel: +7 095 730 7424 Fax: +7 095 730 7425
Email: info@ru.metrologic.com

ポーランド、ワルシャワ

Metrologic Instruments Poland Sp.z o.o
Tel: +48 (22) 545 04 30
Fax: +48 (22) 545 04 31
Email: info@pl.metrologic.com

目次

はじめに

シンボル・キー	ix
---------------	----

バーコード設定方法

シングル・コード方式	x
マルチ・コード方式	x

初期設定状態に戻るには

初期設定	xi
------------	----

セクション A : コード体系とデコードの規定

UPC/EAN	1
Code 128	3
Code 39	4
インターリブド 2 OF 5 コード	6
スタンダード 2 of 5	9
他の 2 of 5 コード	10
Codabar	12
Code 93	13
Code 11	13
テレペン	14
PLESSEY コード	15
他のデコード設定項目	17
設定可能な読取桁数	18
RSS 14 の設定	21
RSS 制限設定	23
RSS 拡張設定	25

セクション B : サプルメント

2 桁サプルメント/2 回一致	1
5 桁サプルメント/2 回一致	1
サプルメント要求/不要	2
リモート・サプルメント要求	2
Bookland (978) サプルメント要求	3
977 (2 桁) サプルメント要求	3

目次

セクション B : サプリメント (続き)

378/379 French サプリメント要求	3
434/439 German サプリメント要求	4
414/419 German サプリメント要求	4
# System はサプリメントを要求	4
# System 5 はサプリメントを要求	5
クーポン Code 128	5
Code 128 'J'C1' 拡張コード・フォーマット	5
Code 128 グループ・セパレータ	6
サプリメント確認に 100 msec 時間かかる	6
サプリメント確認に 200 msec 時間かかる	6
サプリメント確認に 400 msec 時間かかる	7
サプリメントのコード ID	7
977 バーコードで 2/5 桁許可	7
977 バーコードで 2 桁許可	7
サプリメントにピープ音 1 回/2 回	8
ISBN チェック・ディジット転送	8
Bookland から ISBN に変換	9
ISBN 再フォーマット	9
ナンバー・システム 4 クーポン・コード 128	10
UPC 廃棄	10
同一ラインでのサプリメントおよび UPC	10

セクション C : 通信

RS-232 許可	1
キーボード・ウェッジ・デフォルトのロード	1
ライトペン/ペン・スキャナ通信 許可	1
キーボード・ウェッジ・エミュレーション許可	1
独立キーボード・スキャナ許可	1
OCIA デフォルトのロード	2
OCIA 出力許可	2
IBM 46xx デフォルトのロード	2
IBM 46xx 通信許可	2

目次

セクション C：通信（続き）

低速 USB.....	3
非通信モード許可	3
予約項目	3

セクション D：スキャナの動作

設定モード・オプション	1
読取パファ	2
2 回一致読取	4
他のデコード設定項目	6
読取深度の調整	7
同一シンボル・タイムアウト	8
LED オプション	10
ビープ音オプション	10
インターキャラクタ・データ送信ディレー	15
インターレコード・データ送信ディレー	16
通信タイムアウト・オプション	17
ホスト・スキャナのコマンド	19
パワー・セーブ・モード	24
日本のダブル・フィールドのサポート	28
テスト・モード	33

セクション E：プリフィクス/サフィックス

構成可能な接頭詞、すべてのデータ	1
設定可能 ID キャラクタ、コード別	3
ID キャラクタ	3
標準の接頭詞キャラクタ	8
標準の接尾キャラクタ	14
データ長の 2 回一致チェック (LRC)	16
ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ	17
特別フォーマット	20
キャラクタの置換	21

セクション F：コード・フォーマット

UPC/EAN フォーマット	1
Codabar(NW-7) フォーマット	5

目次

セクション F : コード・フォーマット (続き)

Code 39 フォーマット	7
Code 11.....	9
テレペン	9
Plessey.....	10
インターリブド 2 of 5 コード・フォーマット	12

セクション G : RS-232

RS-232 モード許可	1
パリティの設定	2
ボーレート	3
データ/ストップ・ビット	5
ハード・ハンドシェイク	6
ソフト・ハンドシェイク	9
その他の設定	12

セクション H : キーボード

キーボード・エミュレーションの有効	1
国別/読取コード表の選択	2
キーボード/システム・タイプ	4
特別キーボードの設定	5
インタースキャン・コード・ディレー	9
コントロール・セット	10
3151 ターミナル・キーボード	12

セクション I : OCIA

OCIA デフォルトをロードする	1
OCIA モード許可	1
DTS/Siemens.....	1
DTS/Nixdorf.....	1
NCR-S.....	1
NCR-F	1

セクション J : Light Pen/Laser Emulation

ライトペン・モード 許可	1
Space/Bar Height.....	1
Code 39 として転送する	1

目次

セクション J : Light Pen/Laser Emulation (続き)

読取られたままに転送する	1
ライトペン・ソースをポーリングする	2
ライト・ペン追加トグル	2
10x 細エレメント・ボーダー	2
50x 細エレメント・ボーダー	2
細エレメント幅の設定	3
レーザー・エミュレーション	3

セクション K : IBM 46XX 設定

IBM 46xx 通信を許可	1
46xx IBM デフォルトをロードする	1
IBM ポート	1
IBM 予約コード	2

セクション M : コード・バイト

コード・バイトの使用	1
コード・バイト 0-5	2
コード・バイト 6-9	3
予約コード	4
コード・バイト/コード・タイプ表	5
ASCII 参考表	6
拡張キー・コード参考表	11

セクション N : その他の設定項目

カスタム・デフォルト	1
シリアル・プログラム・モード	4
ソフトウェア識別	4

セクション O : 補助ポート・コントロール

補助ポート禁止	1
AUX ポートおよび二次装置データ・フォーマット	
MS7220、MS7320 および MS7600	1
二次スキャナとして Metrologic 装置を使用する場合	1
二次スキャナとして非 Metrologic RS-232 装置を使用する場合	3

目次

セクション O : 補助ポート・コントロール (続き)

追加補助ポート・データ・フォーマット	4
補助ポート・ボーレート	6
補助ポート・パリティ	8
補助ポート・ストップ・ビット/データ・ビット	9
RTS/CTS ハンドシェーキング許可/禁止	10
メッセージ AUX RTS/CTS	10
キャラクタ AUX RTS/CTS	10
ポート・モード 7 許可/禁止	10
D/E コマンド許可/禁止	11
F/L コマンド許可/禁止	11
M/O コマンド許可/禁止	11
XON/XOFF ハンドシェーク許可/禁止	12
ACK/NAK コマンド許可/禁止	12
AUX CTS/RTS ポラリティ	13
AUX が同一シンボル・タイムアウトを持つ	13
主出力ポート補助データ・フォーマット	14
インター・キャラクタ・ディレー	16

セクション P : USB

最高速 USB	1
低速 USB	4



セクション R : IS3480 / MS3480

ボタン・モード	1
ボタン・クリック・ディレー	1
一次および二次読取パターン	2
スイート・スポット・モード	3
CodeGate	3
フィールド深度	3
IR Activation	4
TTL RS232	4

はじめに

あなたが購入されたスキャナは出荷時に工場のデフォルト設定でプログラムされています。ホスト・システムはそれぞれユニークなフォーマットやプロトコルを要求するので、バーコードを読取るだけでユーザーの希望の設定構成に変更できる幅広い設定プログラムを Metrologic 社は用意いたしました。

プログラムが終了すると、スキャナは不揮発性メモリ（NOVRAM）にその設定を書きこみます。NOVRAM はパワーがオフになった後もその設定をセーブします。

シンボル・キー	
*（アスタリステック・マーク）	デフォルト設定
~（チルダ・マーク）	マルチ・コード方式を必要とする設定です。x ページの「バー・コード設定方式」を参照してください。
	重要!
	注記

バーコード設定方法

MetroSelect[®]はシングル・コード方式とマルチ・コード方式でスキャナのバーコード設定変更ができます。

シングル・コード方式

殆どの設定はシングル・コード方式でバーコードの許可・禁止が可能です。

1. スキャナの電源を ON にします。
2. 変更したい設定項目のバーコードを読み取ります。
3. 「設定セーブ」を表示する複数トーンのピープ音は NOVRAM にその設定がセーブされたことを示します。

マルチ・コード方式

すべての設定はマルチ・コード方式を使って許可・禁止を決める事ができます。
~ (チルダ) 印のついている設定項目はマルチ・コード方式が必要です。

1. スキャナの電源を ON にします。
2. 「設定モード IN/OUT」のバーコードを読み取 (ピープ音が 3 回鳴動) ります。
3. 設定したい項目のバーコードを読み取 (ピープ音が 1 回鳴動) ます。
4. 「設定モード IN/OUT」のバーコードを再び読取る (ピープ音が 3 回鳴動) と新しい設定内容がセーブされます。

IN/OUT 設定モード



途中で設定変更を中止したい時は、「設定モード IN/OUT」を再び読取る前にスキャナの電源をオフにしてください。

初期設定状態に戻るには

「初期設定」のバーコードを読み取ると、今までに設定されたすべての内容が消え、スキャナの初期設定状態の通信プロトコルに戻ります。

- キーボード・ウェッジ・インターフェースのスキャナはキーボード・ウェッジの初期設定状態に戻ります。
- 他のスキャナはすべて RS-232 の初期設定状態に戻ります。



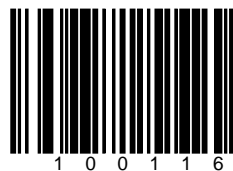
Metrologic 社はカスタム OEM スキャナを製造しています。OEM スキャナは OEM の初期設定状態に戻ります。「Metrologic 社の初期設定状態」の影響等についてはセクション N, Custom Defaults を参照してください。



セクション A

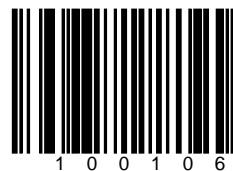
UPC/EAN

* UPC/EAN 許可



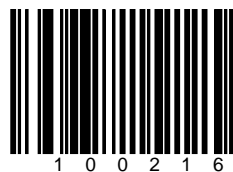
1 0 0 1 1 6

UPC/EAN 禁止



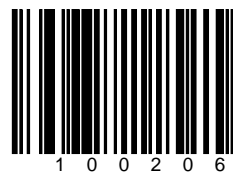
1 0 0 1 0 6

* UPC-A 許可



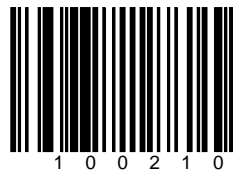
1 0 0 2 1 6

UPC-A 禁止



1 0 0 2 0 6

* UPC-E 許可



1 0 0 2 1 0

UPC-E 禁止

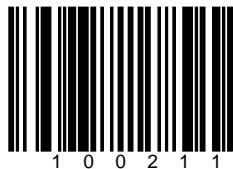


1 0 0 2 0 0

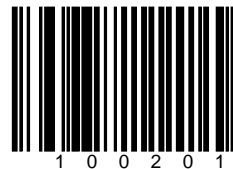
セクション A

UPC/EAN

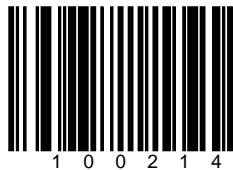
* EAN-13 許可



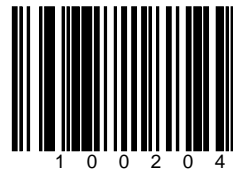
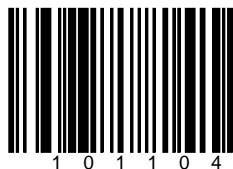
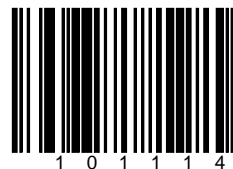
EAN-13 禁止



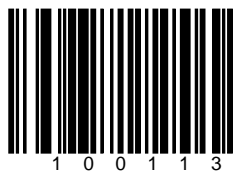
* EAN-8 許可



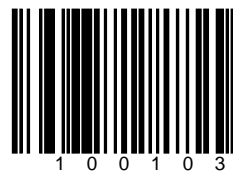
EAN-8 禁止

* 自動 2 回一致 UPC-E
許可自動 2 回一致 UPC-E
禁止

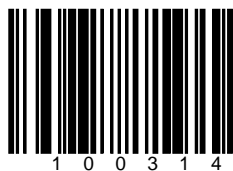
* Code 128 許可



Code 128 禁止



UCC/EAN-28
‘J’C1’ コード・フォーマット許可



UCC/EAN-128
‘J’C1’ コード・フォーマット禁止

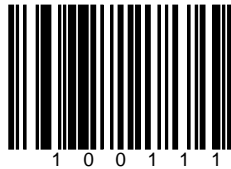


128 クーポン・コードは 5 ページのセクション B 参照.

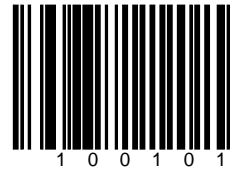
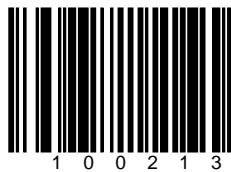
セクション A

Code 39

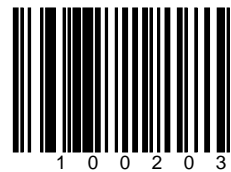
* Code 39 許可



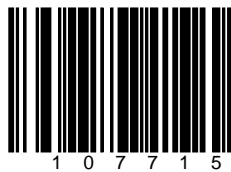
Code 39 禁止

MOD 43 チェックの
Code 39 許可

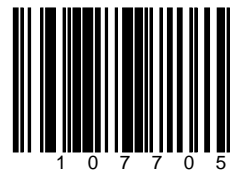
スキャナは Code 39 で
正式なモジュラス 43 の
チェック・ディジットが
ついているバーコードの
み読み取ります。

* MOD 43 チェックの
Code 39 禁止

スキャナは Code 39 の
モジュラス 43 チェック・
ディジットを確認しませ
ん。

転送モード 43 チェック・
ディジット Code 39

この設定は、モード 43
チェック Code 39 と併用
します。この設定を使用
するには、両オプション
ともに許可する必要があります。

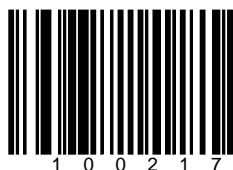
* 転送モード 43 チェッ
ク・ディジット Code
39 を行わない

このオプションは Code
39 の Mod 43 チェック・
キャラクタを転送しませ
ん。

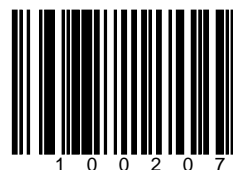
セクション A

Code 39

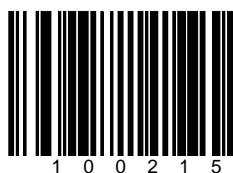
Full ASCII Code 39 許可



* Full ASCII Code 39
禁止

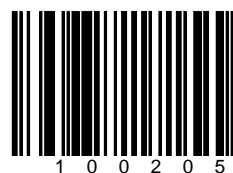


PARAF (イタリアの薬局
コード) サポート許可



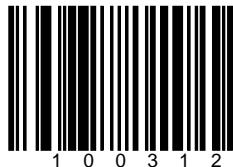
スキャナは Code 39 を
PARAF フォーマットに
変換します。

* PARAF サポート禁止

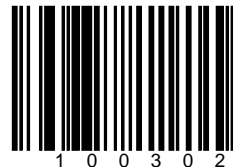


スキャナは Code 39 を
PARAF フォーマットにし
ません。

TRI-OPTIC コード許可



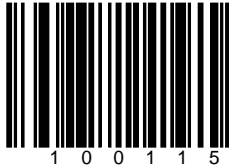
* TRI-OPTIC コード禁止



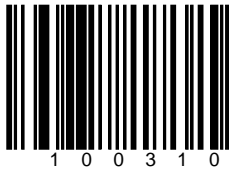
セクション A

インターリブド 2 OF 5 コード

* インターリブド 2 of 5
(ITF) 許可

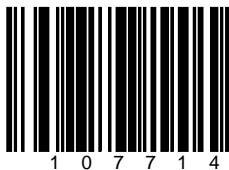


ITF の MOD 10
チェック許可



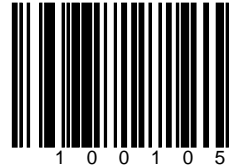
これを有効にすると、
スキャナはモジュラス 10
のチェック・ディジット
の入ったインターリブド
2 of 5 (ITF) バーコードの
み読み取ります。

ITF の MOD 10 チェック
ディジットを転送する

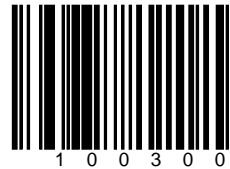


スキャナは、インターリ
ブド 2 of 5 (ITF) MOD 10
チェック・キャラクタを
転送します。

インターリブド 2 of 5
(ITF) 禁止

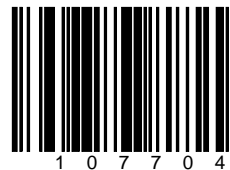


* ITF の MOD 10
チェック禁止



これが無効になると、
スキャナはモジュラス 10
のチェック・ディジット
の入ったインターリブド
2 of 5 (ITF) を確認しま
せん。

* ITF の MOD 10 チェッ
クディジットを転送し
ない

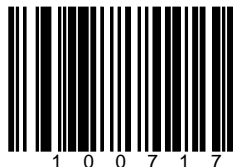


スキャナは ITF の MOD
10 チェック・キャラクタ
を転送しません。この設
定は、ITF の Mod 10
チェックと併用します。
この設定を使用するに
は、両オプションともに
許可する必要があります。

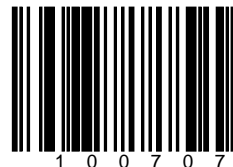
セクション A

インターリブド 2 OF 5 コード

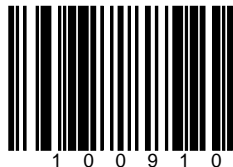
ALT チェック・ディジット ITF 許可



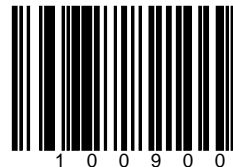
* ALT チェック・ディジット ITF 禁止



12桁 ITF チェック・ディジット (1桁目) 許可

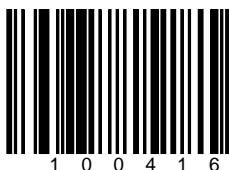


* 標準チェック・ディジット

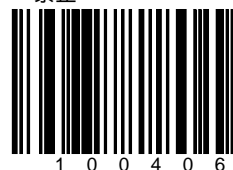


この設定では、MOD 10 ITF チェック・ディジットを許可する必要があります。12桁 ITF チェック・ディジット計算が0桁目ではなく1桁目から開始します。

ITF/Code 39 フィルタ 許可



* ITF/Code 39 フィルタ 禁止



サポート Code 39/ITF フィルタ

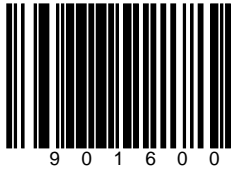


この設定は、Codabar、Code 93、その他の非標準シンボルの読取に悪影響を及ぼす可能性があります。

セクション A

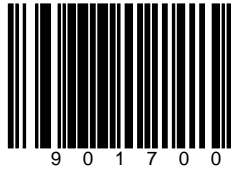
インターリブド 2 of 5

~ ITF 読取可能桁数の
固定 1[†]



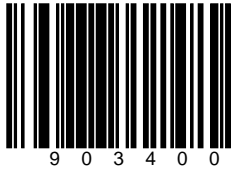
最初のITF読取可能桁数の
固定を指定するには、上
記のバーコードとセク
ションMの適切なコー
ド・バイトを読取りま
す。[†]

~ ITF読取可能桁数の
固定 2[†]



2 番目のITF読取可能桁数
の固定を指定するには、
上記のバーコードとセク
ションMの適切なコー
ド・バイトを読取りま
す。[†]

~ ITF 読取可能最小桁数[†]



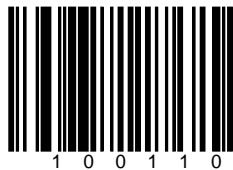
デコードする最小ITF桁数
を指定するには、上記の
バーコードとセクション
Mの適切なコード・バイ
トを読取ります。[†]

[†] x ページのマルチコー
ド方式を参照してくだ
さい。

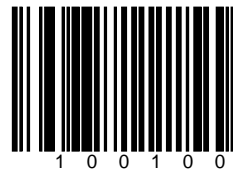
セクション A

スタンダード 2 of 5

スタンダード 2 of 5 許可



* スタンダード 2 of 5
禁止



～ スタンダード 2 of 5
読取桁数の固定



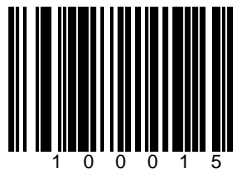
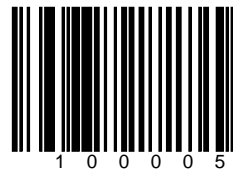
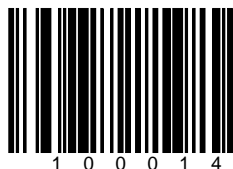
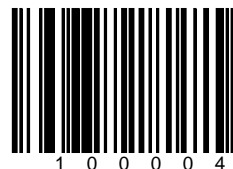
デコードする最少ITF桁数
を指定するには、上記の
バーコードとセクション
Mの適切なコード・パイ
トを読取ります。[†]

[†] x ページのマルチコード方式を参
照してください。

セクション A

他の 2 of 5 コード

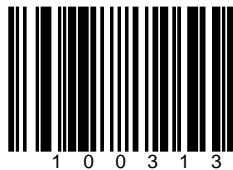
マトリックス 2 of 5 許可

* マトリックス 2 of 5
禁止15 桁エアライン
2 of 5 許可* 15 桁エアライン
2 of 5 禁止

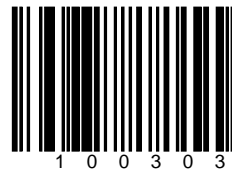
セクション A

他の 2 of 5 コード

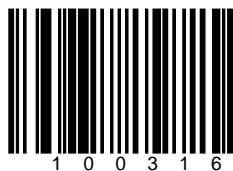
13 桁エアライン
2 of 5 許可



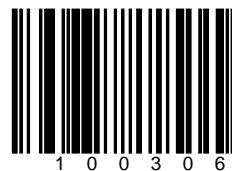
* 13 桁エアライン
2 of 5 禁止



ホンコン 2 of 5 許可



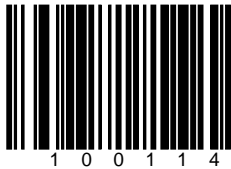
* ホンコン 2 of 5 禁止



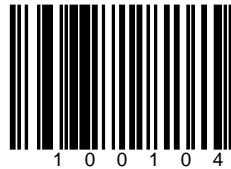
セクション A

Codabar

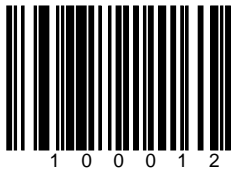
* Codabar 許可



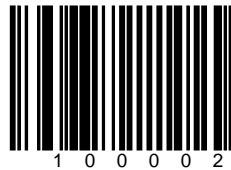
* Codabar 禁止



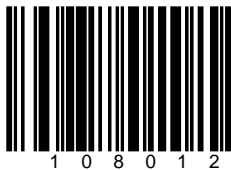
デュアル・フィールド
Codabar 許可



* デュアル・フィールド
Codabar 禁止



デュアル Codabar 内
タブ 許可



* デュアル Codabar 内
タブ 禁止

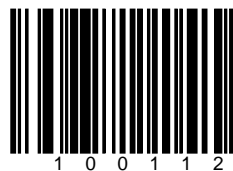


この設定では、デュアル・フィールド Codabar 許可が必要です。スキャナは、デュアル・フィールド Codabar のフィールド間に Tab を挿入します。

セクション A

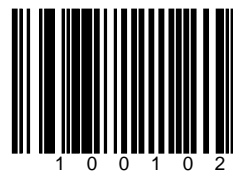
CODE 93 および CODE 11

* Code 93 許可



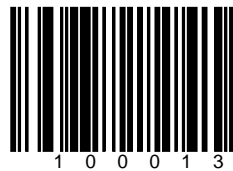
1 0 0 1 1 2

Code 93 禁止



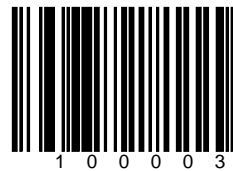
1 0 0 1 0 2

Code 11 許可



1 0 0 0 1 3

* Code 11 禁止

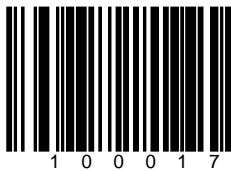


1 0 0 0 0 3

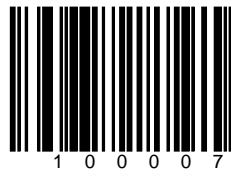
セクション A

テレペン

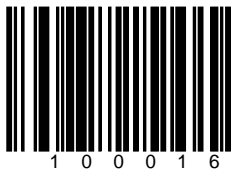
テレペン 許可



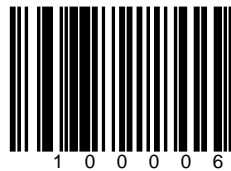
* テレペン 禁止



ALPHA テレペン 許可



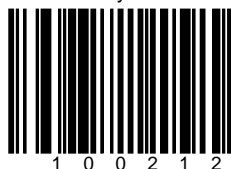
* ALPHA テレペン 禁止



セクション A

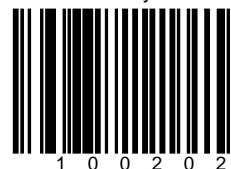
PLESSEY コード

MSI Plessey 許可



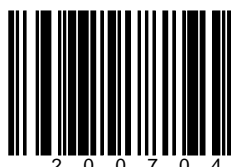
1 0 0 2 1 2

* MSI Plessey 禁止



1 0 0 2 0 2

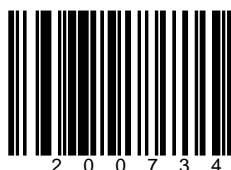
* MSI Plessey チェック・
ディジットなし



2 0 0 7 0 4

このオプションは MSI
Plessey のチェック・デ
ジットを確認しません。

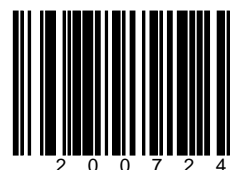
MSI Plessey MOD 10/10
チェック・ディジット
許可



2 0 0 7 3 4

これは MSI Plessey の 2
桁モジュラス 10 チェッ
ク・ディジットを確認し
ます。

* MSI Plessey MOD 10
チェック・ディジット
許可



2 0 0 7 2 4

これは MSI Plessey の 1
桁モジュラス 10 チェッ
ク・ディジットを確認し
ます。

セクション A

PLESSEY コード

MSI Plessey チェック・
ディジットを転送する



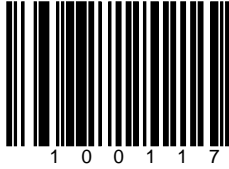
このオプションは「MSI
Plessey Mod オプション
を有効」の項目と併用す
ることが必要です。

* MSI Plessey チェック・
ディジットを転送しな
い

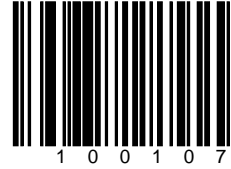


スキャナは MSI Plessey
チェック・ディジット・
キャラクタを転送しませ
ん。

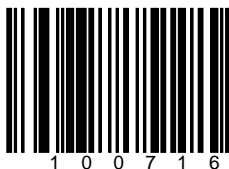
UK Plessey 許可



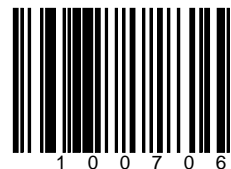
* UK Plessey 禁止



UK Plessey A から X に
変換許可



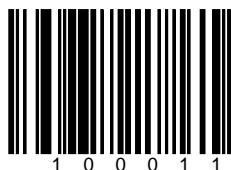
* UK Plessey A から X に
変換禁止



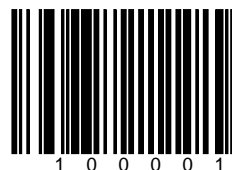
セクション A

他のデコード設定項目

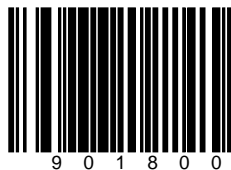
ダブル・ボーダー要求/
インターキャラクタ・
スペース 許可



* ダブル・ボーダー要求/
インターキャラクタ・
スペース 禁止

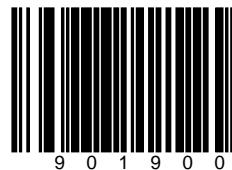


~ 最小読取コード桁数[†]



全方向読取のデフォルト
は4です。UPC/EAN以外
のバーコードの最小読取
コード桁数を指定する
際、このコードと適当な
コード・バイトを併用
してください。[†]

~ 読取桁数の固定[†]



このコードを適切なコー
ド・バイトと併用すると、
バーコードの読取桁数が適
切に固定されます。[†]

[†] x ページのマルチコード方式を参照してください。

セクション A

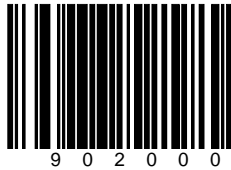
設定可能な読取桁数

7つのバーコード固定読取桁数が使用可能です。マルチ・コード方式を使用した個別コード区分を固定読取桁数に指定できます。

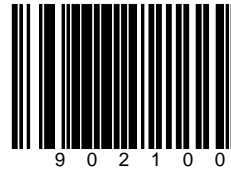
例：

1. IN/OUT 設定バーコードを読取ります。
2. *読取コード固定 #1* バーコードを読取ります。
3. コード読取桁数を表す 3 つのコード・バイトを読取ります。
4. 照合コード・タイプ固定 #1 バーコードを読取ります。
5. コード・タイプを表す 3 つのコード・バイトを読取ります。
セクション M のコード・タイプ表を参照してください。
6. 固定読取桁数 2～7 について、必要に応じて手順 2～5 を繰り返します。
7. 設定のセーブの完了時に IN/OUT 設定バーコードを読取ります。

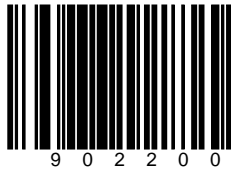
～ 読取コード固定 #1：
桁数



～ 読取コード固定 #1：
コード・タイプ



～ 読取コード固定 #2：
桁数



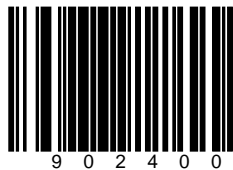
～ 読取コード固定 #2：
コード・タイプ



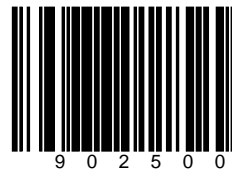
セクション A

構成可能なコード読取桁数

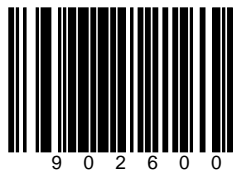
～ 読取コード固定 #3 :
桁数



～ 読取コード固定 #3 :
コード・タイプ



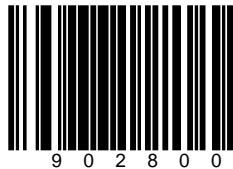
～ 読取コード固定 #4 :
桁数



～ 読取コード固定 #4 :
コード・タイプ



～ 読取コード固定 #5 :
桁数



～ 読取コード固定 #5 :
コード・タイプ



セクション A	構成可能なコード読取桁数
---------	--------------

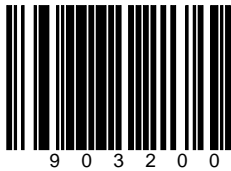
～ 読取コード固定 #6 :
桁数



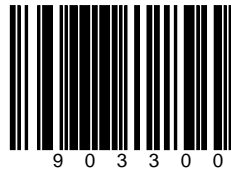
～読取コード固定 #6 :
コード・タイプ



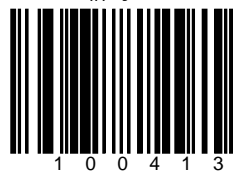
～ 読取コード固定 #7 :
桁数



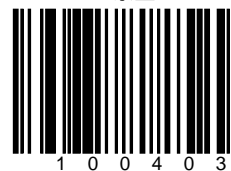
～ 読取コード固定 #7 :
コード・タイプ



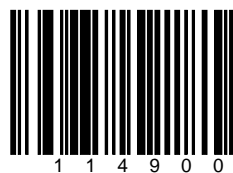
RSS 14 許可



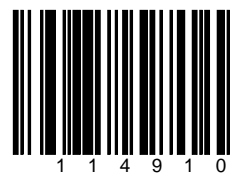
* RSS 14 禁止



* RSS 14 チェック・
ディジットを転送する



RSS 14 チェック・ディ
ジットを転送しない



セクション A

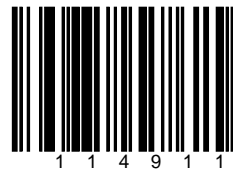
RSS 14 の設定

* RSS 14 アプリケーション ID を転送する

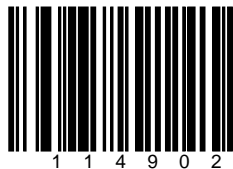


デフォルトではアプリケーション ID「01」が転送されます。

RSS 14 アプリケーション ID を転送しない



* RSS 14 シンボル ID を転送する



デフォルトではシンボル ID「]e0」が転送されます。

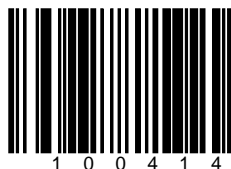
RSS 14 シンボル ID を転送しない



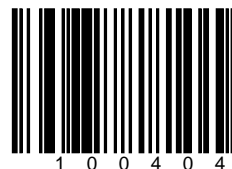
セクション A

RSS 制限設定

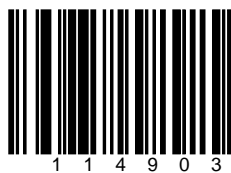
RSS 制限許可



* RSS 制限禁止



* RSS 制限チェック・
ディジットを転送する



RSS 制限チェック・ディ
ジットを転送しない



セクション A

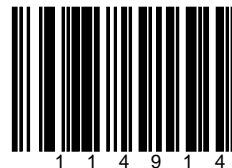
RSS 制限設定

* RSS 制限アプリケーション ID を転送する

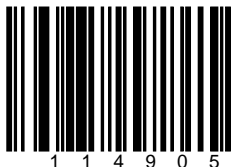


デフォルトではアプリケーション ID「01」が転送されます。

RSS 制限アプリケーション ID を転送しない

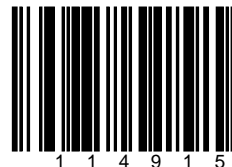


* RSS 制限シンボル ID を転送する

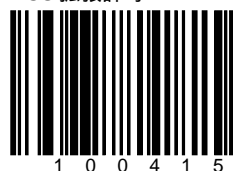


デフォルトではシンボル ID「je0」が転送されます。

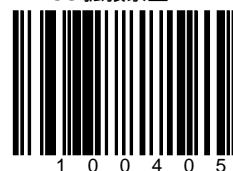
RSS 制限シンボル ID を転送しない



RSS 拡張許可



* RSS 拡張禁止



* RSS 拡張シンボル ID を転送する



デフォルトではシンボル ID「je0」が転送されます。

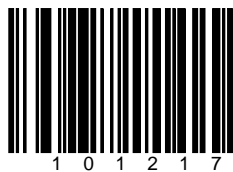
RSS 拡張シンボル ID を転送しない



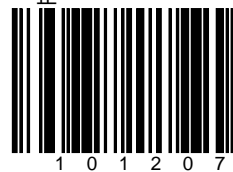
セクション B

サブルメント/2 回一致

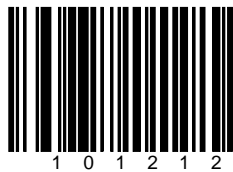
2桁サブルメント 許可



* 2桁サブルメント 禁止

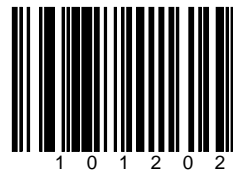


* 2桁・2回一致 許可



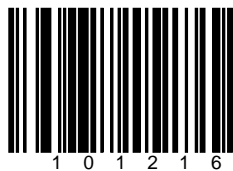
バーコードおよび2桁アド・オンを読み取り、データが2回一致した後にデータを受け入れます。

2・2回一致 禁止

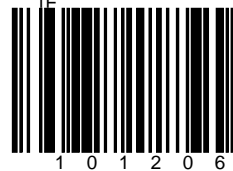


2桁・2回一致の設定項目を無効にします。

5桁サブルメント 許可



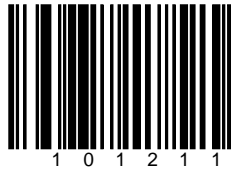
* 5桁サブルメント 禁止



セクション B

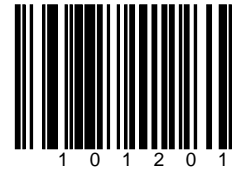
サブメント/2 回一致

5桁・2回一致 許可



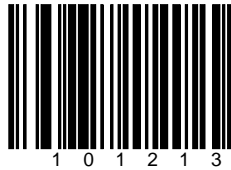
バーコードおよび5桁
アド・オンを読み取り、
データが2回一致した後
にデータを受け入れます。

* 5桁・2回一致 禁止



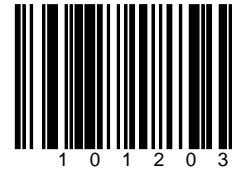
5桁・2回一致の設定項目
を無効にします。

サブメント要求

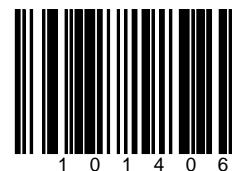


すべてのUPC/EANラベル
はサブメントを要求
します。

* サブメント不要



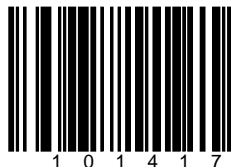
すべてのUPC/EANラベル
はサブメントが不要
です。

リモート・サブメント
要求 許可* リモート・サブメン
ト要求 禁止

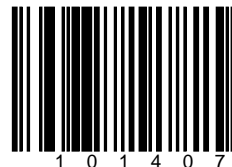
セクション B

サブルメント

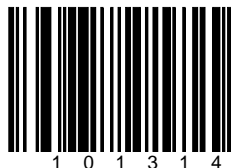
Bookland (978)
サブルメント 許可



* Bookland (978)
サブルメント 禁止

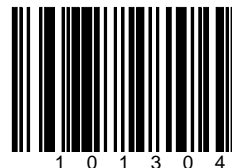


977 (2桁) サブルメント
要求 許可



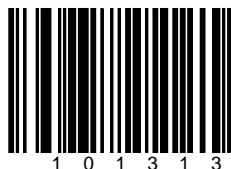
977 で始まる EAN-13
コードはすべて 2 桁サブ
ルメントを要求します。

* 977 (2桁) サブルメン
ト要求 禁止

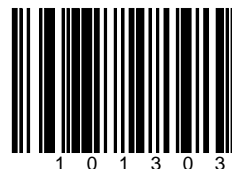


977 で始まる EAN-13 コー
ドでも 2 桁サブルメントは
要求しません。

378/379 French
サブルメント要求 許可



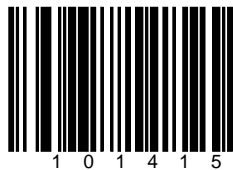
* 378/379 French
サブルメント要求 禁止



セクション B

サブメント

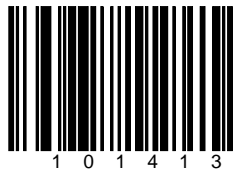
434/439 German
サブメント要求 許可



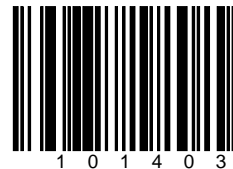
* 434/439 German
サブメント要求 禁止



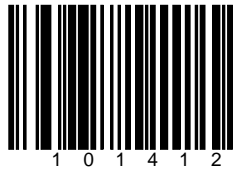
414/419 German
サブメント要求 許可



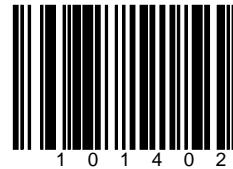
* 414/419 German
サブメント要求 禁止



#System 2 はサブメン
トを要求 許可



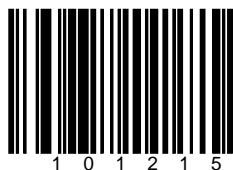
* #System 2 はサブメン
トを要求 禁止



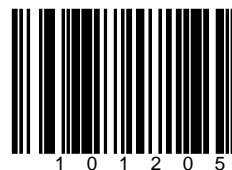
セクション B

サブルメント

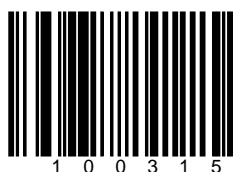
UPC #System 5 はサブル
メントを要求 許可



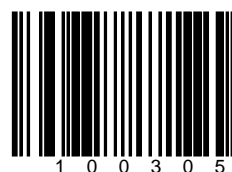
UPC #System 5 はサブル
メントを要求 禁止



クーポン Code 128 許可



クーポン Code 128 禁止



Code 128 'JC1' 拡張
コード・フォーマット
許可



スキャナは「JC1」キャラ
クタをクーポン Code 128
の前頭に転送する。

* Code 128 'JC1' 拡張
コード・フォーマット
禁止



スキャナは「JC1」キャラ
クタをクーポン Code 128
の前頭に転送しない。

セクション B

サブメント

Code 128 グループ・
セパレータ 許可



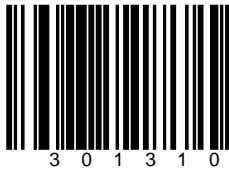
“GS” (1DH) キャラクタが
クーポン Code 128 に転
送される。

* Code 128 グループ・
セパレータ 禁止



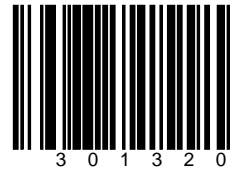
“GS” (1DH) キャラクタは
クーポン Code 128 に転送
されない。

* サブメント確認に
100 msec 時間かかる



このオプションで
UPC/EAN を読取った後、
アド・オンのチェックに
100 msec の時間がかかり
ます。

サブメント確認に 200
msec 時間かかる

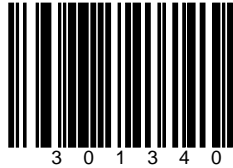


このオプションで
UPC/EAN を読取った後、
アド・オンのチェックに
200 msec の時間がかかり
ます。

セクション B

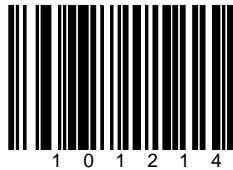
サブメント

サブメント確認に 400 msec 時間かかる

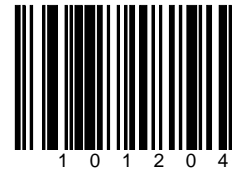


このオプションで
UPC/EAN を読取った後、
アド・オンのチェックに
400 msec の時間がかかります。

サブメントのコード ID
許可



* サブメントのコード
ID 禁止

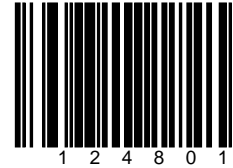


977 バーコードで 2/5 桁
許可



この設定は、977 モード
がアクティブな場合に、2
桁または 5 桁のサブメ
ントを許可します。

977 バーコードで 2 桁
許可



この設定は、977 モード
がアクティブな場合に 2
桁のサブメントを許可
します。

サブメント

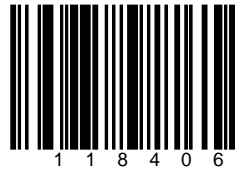
B

8

セクション B

サブメント

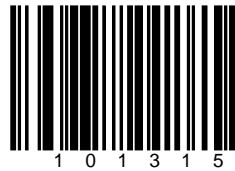
* サブメントに
ピーブ音 1 回



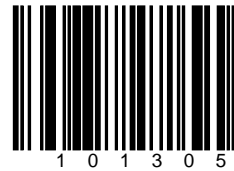
サブメントに
ピーブ音 2 回



SBN チェック・ディジット
ト転送 許可



ISBN チェック・ディジット
ト転送 禁止

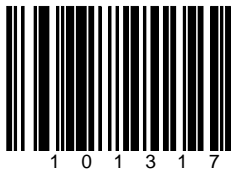


このオプションは
すべてのモデルに
は適用しません。

セクション B

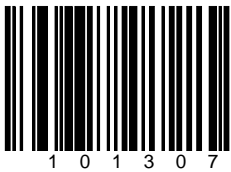
サブルメント

Bookland から ISBN に
変換 許可



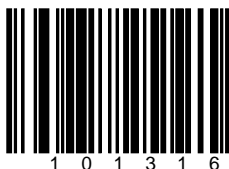
このオプションは
すべてのモデルに
は適用しません。

* Bookland から ISBN に
変換 禁止



ISBN 再フォーマット
許可

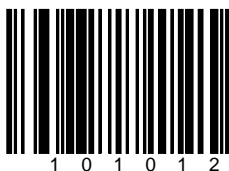
* ISBN 再フォーマット
禁止



このオプションは
すべてのモデルに
は適用しません。

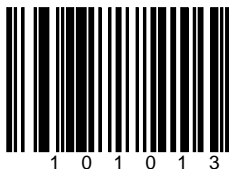
セクション B

ナンバー・システム
4 クーポン・コード 128
許可



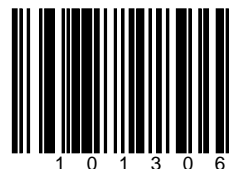
ナンバー・システム 4
バーコードのクーポン・
コード 128 をサポート
します。

UPC 廃棄 許可



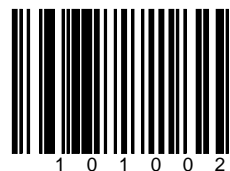
クーポン・コード 128 の
Code 128 前頭を読取る場
合に UPC 廃棄をサポート
します。

同一ラインでのサブメ
ントおよび UPC 許可

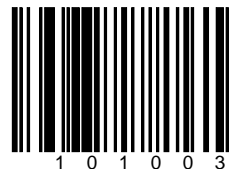


サブメント

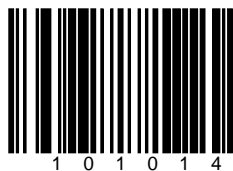
* ナンバー・システム
4 クーポン・コード 128
禁止



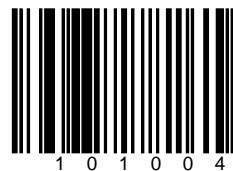
* UPC 廃棄 禁止



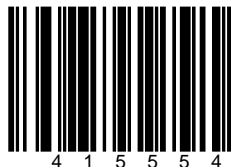
同一ラインでのサブメ
ントおよび UPC 禁止



この設定では、2桁
のサブメントと、
必要な2回一致およ
びサブメントを許
可する必要があります。



* RS-232 許可



このオプションを有効にした場合、スキャナは RS-232 ± 12 V のシリアル出力となります。

キーボード・ウェッジ・デフォルトのロード



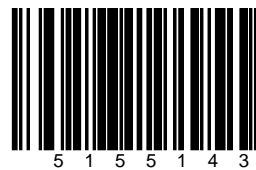
通常もしくは独立ウェッジ・モードを選択する前にこのオプションを読み取ってください。

ライトペン/ペン・スキャナ通信 許可



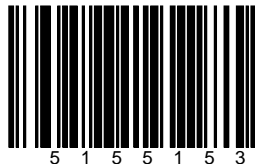
スキャナがライトペンの代わりに使われる場合、このオプションを選んでください。

キーボード・ウェッジ・エミュレーション 許可



スキャナのバーコード・データを PC の読取コード・データに変換するキーボード・エミュレーションを選ぶ時に選択します。

独立キーボード・スキャナ 許可

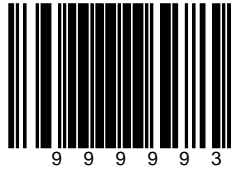


外付キーボードがない時に、スキャナは使用可能です。

セクション C

通信

OCIA デフォルトのロード



OCIA 出力を有効にする前に、このメニューを讀取ってください。

OCIA 出力 許可



通信に OCIA を要する場合、このオプションを選びます。ホスト側はシリアル・インターフェースとなります。

IBM 46xx デフォルトのロード



「IBM 46xx 通信許可」を選択する前にこれを読取ります。

IBM 46xx 通信 許可

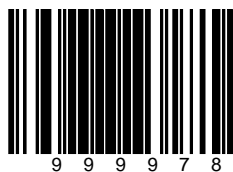


IBM 46xx SIOC/RS485 通信の場合、このオプションを選んでください。



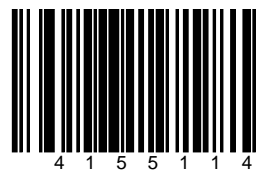
すべてのスキャナはこのオプションをサポートしていないので適切なインターフェース・ボードが必要です。

低速外部USBデフォルト
のロード†



† 最高速 USB オプション
については、セクション
Pを参照してください。

低速USB 許可†



低速内部USBデフォルト
のロード†

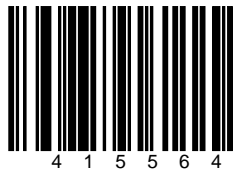


非通信モード 許可



スキャナがホスト装置と
のインターフェースを持
たない場合、このオブ
ションを選択します。

予約項目



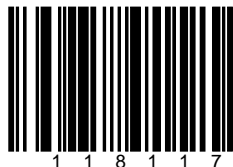
予約項目



セクション D

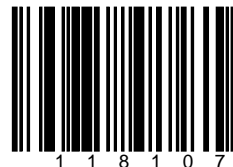
設定モード・オプション

パワーアップ時に、設定
モード 許可



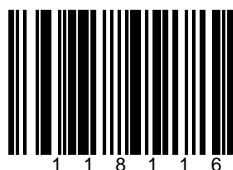
スキャナは、バーコード
を読み取る前にのみ
MetroSet[®]モードに入るこ
とができます。

* 常時、設定モード
許可



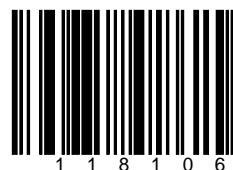
常時、MetroSet[®]設定がで
きます。

パワーアップ時に、設定
コード 許可



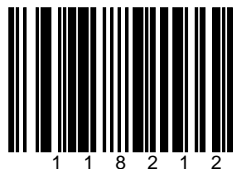
パワーアップ後に一般商
品のバーコードが読取ら
れると、スキャナは設定
用バーコードを受け付け
ません。

* 常時、設定コード
許可

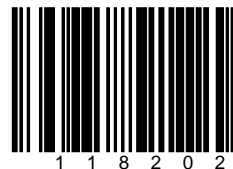


常時、設定用のバーコー
ドを読み取ることができま
す。

シングル・コード・
プログラミング 許可



シングル・コード・
プログラミング 禁止



セクション D

読取バッファ

* 1 読取バッファ



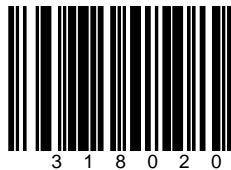
これを有効にすると、読取フィールドのバーコードのみを読取り同一シンボル・タイムアウトの時間内は読取りフィールドからそれを除去しない限り再び読取ることはありません。

2 読取バッファ



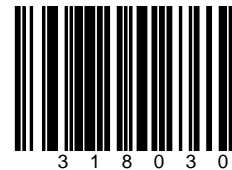
これを有効にすると、読取りフィールドの2個のバーコードのみを読取り同一シンボル・タイムアウトの時間内はそれらを除去しない限り再び読取ることはありません。

3 読取バッファ



2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには3個のバーコードがあります。

4 読取バッファ

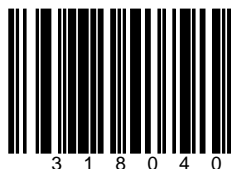


2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには4個のバーコードがあります。

セクション D

読取バッファ

5 読取バッファ



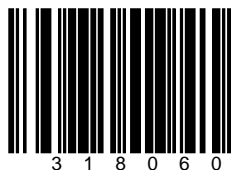
2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 5 個のバーコードがあります。

6 読取バッファ



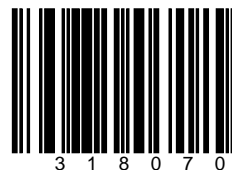
2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 6 個のバーコードがあります。

7 読取バッファ



2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 7 個のバーコードがあります。

8 読取バッファ

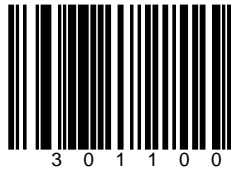


2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 8 個のバーコードがあります。

セクション D

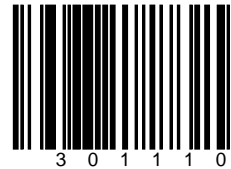
2 回一致読取

* 2 回一致読取なし



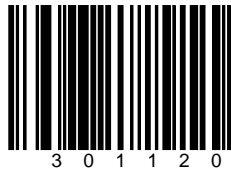
「正常読取」には 1 回の
正常読取が必要。

2 回一致読取



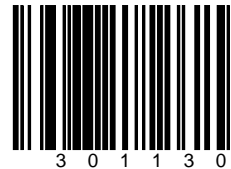
「正常読取」には 2 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

3 回一致読取



「正常読取」には 3 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

4 回一致読取

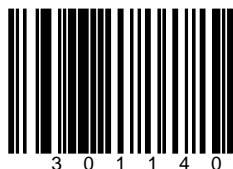


「正常読取」には 4 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

セクション D

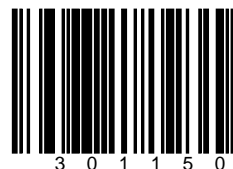
2 回一致読取

5 回一致読取



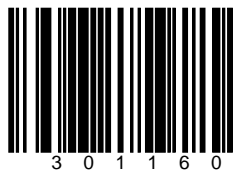
「正常読取」には 5 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

6 回一致読取



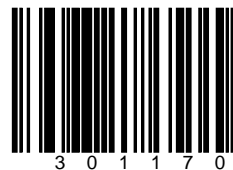
「正常読取」には 6 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

7 回一致読取



「正常読取」には 7 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

8 回一致読取

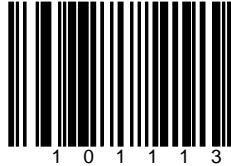


「正常読取」には 8 回の
同じバーコードの連続的
な正常読取が必要。

セクション D

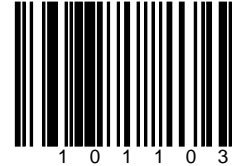
他のデコード設定項目

* MAJIC 許可



Metrologic Algorithm for Joining Incomplete Codes (MAJIC) は、傷ついたバーコードまたは不完全なバーコードの判読に役立ちます。より積極的なデコードを許可します。

MAJIC 禁止



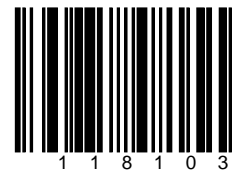
バーコードの読取条件が良好である場合、この設定を禁止します。これによりデコードの速度が向上するとともに、全体的な精度が高まります。

オプション同一シンボル・チェック



「新しい」バーコード・データと見なすためには、連続読取の期間中に 1 個の違ったデータのバーコードが必要です。

* 通常の同一シンボル・チェック



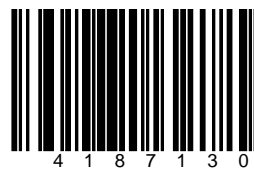
「新しい」バーコード・データと見なすためには、連続読取の期間中に 3 個の違ったデータのバーコードが必要です。

i Metrologic 社のレップの指示なくこの設定を変更しないでください。

* 低密度バーコードの最適化†



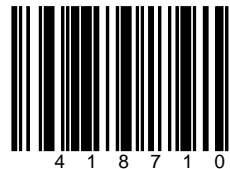
高密度バーコードの最適化†



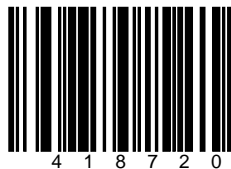
高密度バーコードの固定†



中密度バーコードの固定†



低密度バーコードの固定†



† 全方向スキャナの場合にのみ使用できます。

スキャナの動作

D 8

セクション D

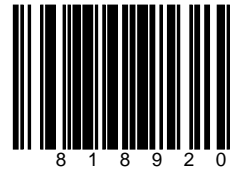
同一シンボル・タイムアウト

読取りフィールドからバーコードが取り除かれた後に再度同じバーコードを読取る場合にそのタイムアウトの時間の長さを示します。単一コードはその時間をそれぞれ、なし、50、100、200、500、1200（1.2 秒）、2000（2.0 秒）msec および無限の設定ができます。また、ユーザーは設定値を 50 msec 毎の間隔で 50 msec から 6350（6.35 秒）msec の範囲で決めることができます。

同一シンボル・タイム
アウトなし



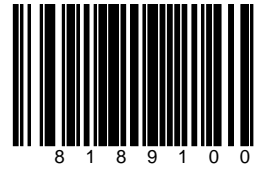
同一シンボル・タイム
アウト 100 msecs



同一シンボル・
タイムアウト
200 msecs



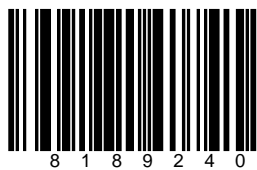
* 同一シンボル・
タイムアウト
500 msecs



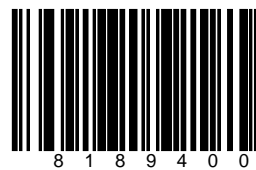
セクション D

同一シンボル・タイムアウト

同一シンボル・
タイムアウト
1200 msec



同一シンボル・
タイムアウト
2000 msec



同一シンボル・
タイムアウトが無限

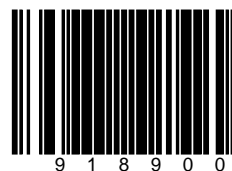


これを選択すると、スキャナは別のバーコードを読み取るまで同じバーコードは読み取りません。



このオプションは同一の再読取タイムアウトを無視します。

～ 可変の同一シンボル・
タイムアウト



設定モードの時、このバーコードとコード・バイトを読み取り、同一シンボル・タイムアウトの時間を設定します。001 から 127 (50 から 6350 msec) の範囲が可能です。

セクション D

LED オプション

再読取が可能な場合、
緑色の LED をフラッシュ
する



これは同一シンボル・タ
イムアウトが経過したこ
とを示します。

* 再読取が可能な場合、
LED をフラッシュ
しない

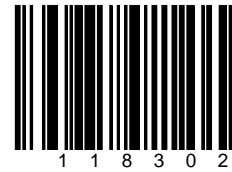


逆表示 LED 機能



赤色 = レーザー On
緑色 = 正常読取

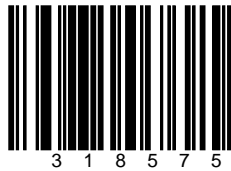
* 通常表示 LED 機能



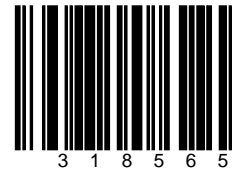
緑色 = レーザー On
赤色 = 正常読取

ビープ音オプション

* 通常の音調



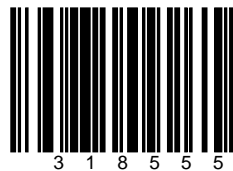
音調 1



セクション D

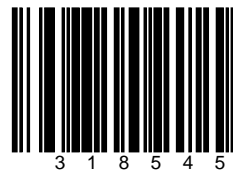
ビープ音オプション

音調 2



3 1 8 5 5 5

音調 3



3 1 8 5 4 5

音調 4



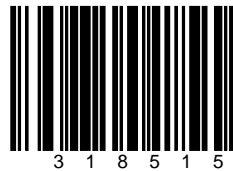
3 1 8 5 3 5

音調 5



3 1 8 5 2 5

音調 6



3 1 8 5 1 5

ビープ音なし

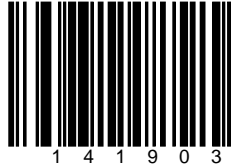


3 1 8 5 0 5

セクション D

ビープ音オプション

* 正常読取ビープ音許可



電源 ON 時の正常読取
ビープ音を許可します。

正常読取ビープ音禁止

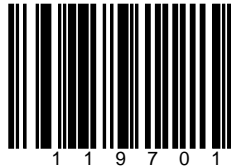


電源 ON 時の正常読取
ビープ音を禁止します。

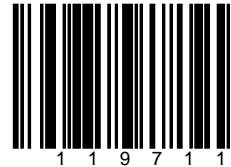
次の 2 つのバーコードは、以下のことを設定します。

- MS7220 および MS7320 のボタンの音調制御を許可または禁止にします。
- 全 Stratos シリーズ製品ラインのボタンの音量制御を許可または禁止にします。

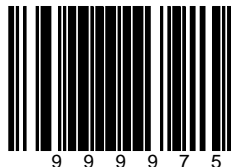
* ボタン・ビープ音
制御許可



ボタン・ビープ音
制御禁止



次のビープ音



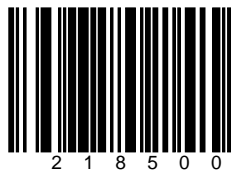
次のボリューム



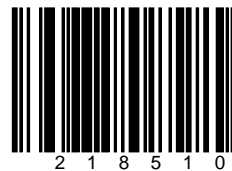
セクション D

ビープ音オプション

* 最大音量



2 番目に大きな音量



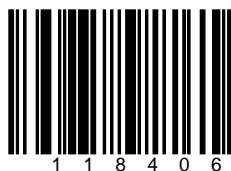
3 番目に大きな音量



音量なし



* サブルメントで
1 回ビープ音



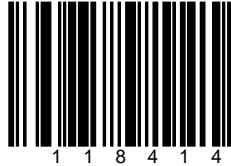
サブメントで
2 回ビープ音



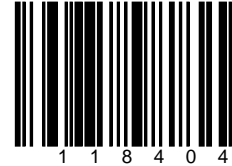
セクション D

ビープ音オプション

高速ビープ音 許可



* 高速ビープ音 禁止



BEL コマンド受信時に
ビープ音

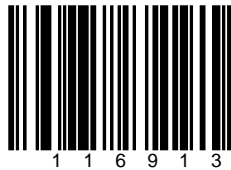


* BEL コマンド無視

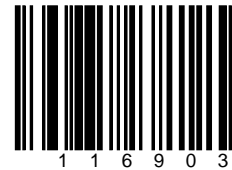


ホストから BEL キャラク
タを受信するとスキャナ
はビープ音を鳴動しま
す。BEL キャラクタの前
に 200 msec 以内に数字
が送信された場合、ス
キャナはその数字の数だ
けビープ音を鳴動しま
す。

ビープ音鳴動中に
ライトペン・トグル 許可



* ビープ音鳴動中にライ
トペン・トグル 禁止

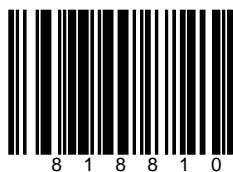


正常読取した場合、ス
キャナはビープ音を鳴動
し、ライトペン・デー
タ・ラインをトグルしま
す。これは正常読取の表
示です。

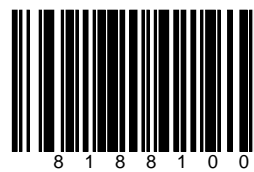
セクション D インターキャラクタ・データ送信ディレー

これらのコードを使用して、スキャナからホストへのデータ・キャラクタの送信と「バーコード」レコードの送信間のディレー時間を選択します。これは、スキャナでのホスト入力バッファのオーバーフローを防止するために役立ちます。

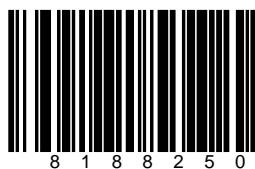
* 1 msec インター
キャラクタ・ディレー



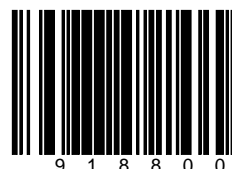
10 msec インター
キャラクタ・ディレー



25 msec インター
キャラクタ・ディレー



~ 可変 msec インター
キャラクタ・ディレー



このバーコードとセクション M のコード・バイト・シーケンスを読み取ることにより、ホスト・システムに送信されるキャラクタ間のディレーを設定します。設定可能なディレー範囲は 1 ~ 255 msec です。
x ページの「マルチ・コード設定方式」を参照してください。

セクション D インターキャラクタ・データ送信ディレー

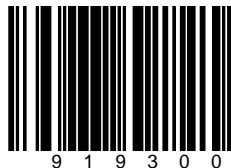
インターキャラクタ・
ディレーなし



8 1 8 8 0 0

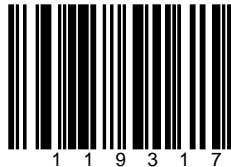
インターレコード・データ送信ディレー

~ 可変インター
レコード・ディレー



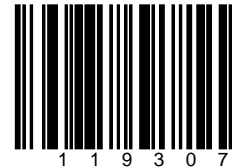
9 1 9 3 0 0

インターレコード・
ディレー中にレーザーを
オフにする



1 1 9 3 1 7

* インターレコード・
ディレー中にレーザー
をオンのままにする

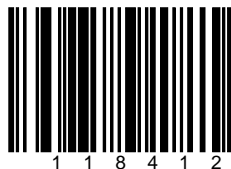


1 1 9 3 0 7

セクション D

通信タイムアウト・オプション

通信タイムアウト 許可



* 通信タイムアウト 禁止

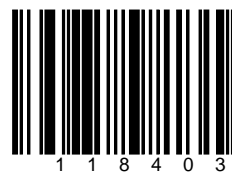


* データ転送前に
ビープ音鳴動



スキャナはデータを転送
する前にビープ音を鳴動
します。

データ転送後に
ビープ音鳴動



スキャナはデータを転送
した後にビープ音を鳴動
します。

～ 可変通信タイムアウト



* デフォルト通信タイム
アウト (2 秒)

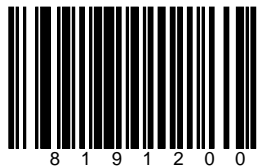


セクション D

通信タイムアウト・オプション

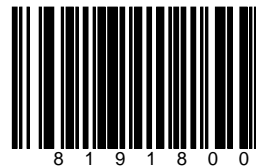
短期間の通信

タイムアウト（1 秒）

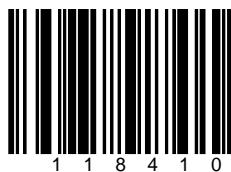


長期間の通信

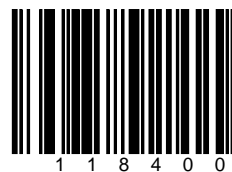
タイムアウト（4 秒）



タイムアウト時に
ピープ音を 3 回鳴動



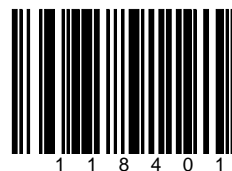
* タイムアウト時に
ピープ音なし



タイムアウト時に
ラズベリー音を鳴動



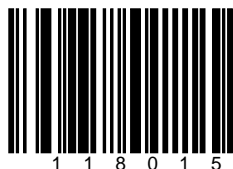
* タイムアウト時に
ラズベリー音なし



セクション D

ホスト・スキャナのコマンド

D/E 無効コマンド 許可



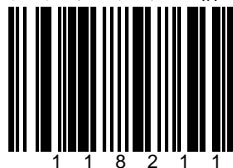
このオプションを選択し、ホストから ASCII “D” を受信するとスキャナは読取を無効にします。ASCII “E” を受信すると読取が有効になります。

* D/E 無効コマンド 禁



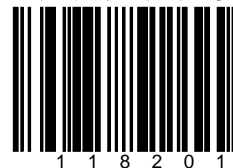
D/E コマンドを監視しません。

Z/R タイプ D/E
シミュレーション 許可



このオプションを選択し、ホストから ASCII “Z” を受信するとスキャナは読取を無効にします。ASCII “R” を受信すると読取が有効になります。

* Z/R タイプ D/E
シミュレーションなし

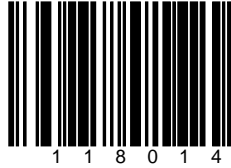


Z/R コマンドを監視しません。

セクション D

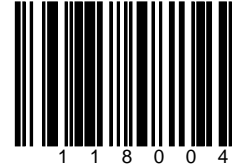
ホスト・スキャナのコマンド

F/L レーザー・コマンド
許可



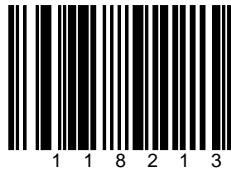
このオプションを選択し、ホストから ASCII “F” キャラクタを受信するとレーザー光がオフになります。ASCII “L” キャラクタを受信するとレーザー光はオンになります。

* F/L レーザー・コマンド 禁止



F/L コマンドを監視しません。

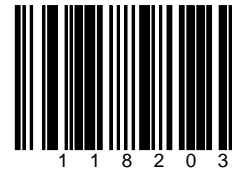
M/Oコマンドを使用した
モーターの「オン/オフ」†



† 全方向スキャナのみ

このオプションを選択し、ホストから ASCII “O” キャラクタを受信するとモーターがオフになります。このオプションを選択し、ホストから ASCII “M” キャラクタを受信するとモーターがオンになります。†

* 「M/O」コマンド 禁止



M/O コマンドを監視しません。

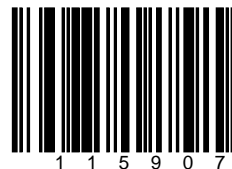
セクション D

ホスト・スキャナのコマンド

I コマンド 許可



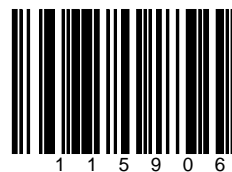
I コマンド 禁止



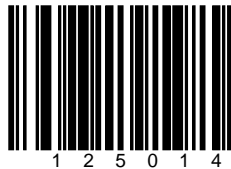
i コマンド 許可



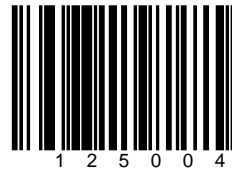
i コマンド 禁止



SI/SO コマンド 許可



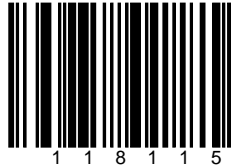
SI/SO コマンド 禁止



セクション D

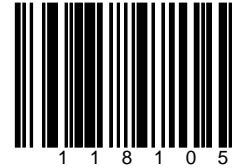
ホスト・スキャナのコマンド

DTR 読取禁止の使用



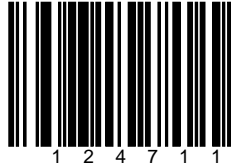
スキャナは、読取を許可するかどうかを決定するために DTR 入力を監視します。+12 V「アクティブ」レベルによりデコードが許可されます。-12 V「非アクティブ」レベルによりデコードが禁止されます。

* DTR 読取禁止の非使用



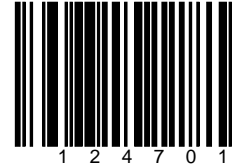
DTR 入力を監視しません。

パススルー許可

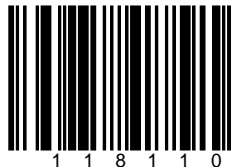


AUX スキャナは、ホストと同一のポートを設定し、STX 接頭詞、Nixdorf ID キャラクタ、および CR ターミネータを許可する必要があります。

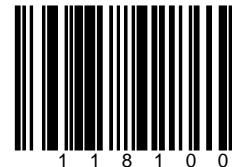
パススルー禁止



DC2 キャラクタをアクティベートする



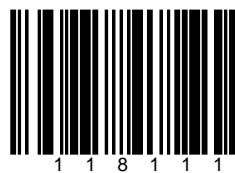
* DC2 キャラクタをアクティベートしない



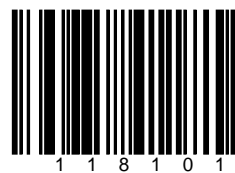
セクション D

ホスト・スキャナのコマンド

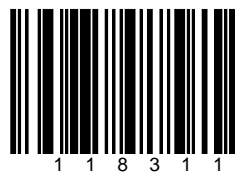
DC2 受信時に NO READ
を送信する



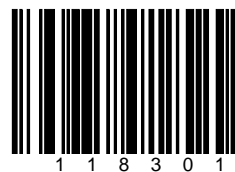
DC2 受信時に NO READ
を送信しない



NO READ 送信時に、
緑色の LED なし



* NO READ 送信時に、
緑色の LED あり



セクション D

パワー・セーブ・モード

常時パワー・セーブ・
モード[†]



電源がONし、バーコード
の読取り後にすぐ省電力
モードに入ります。[†]

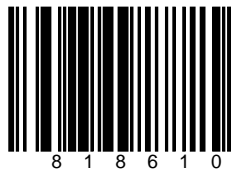
パワー・セーブ・
モードなし[†]



スキャナは省電力モード
に入りません。[†]

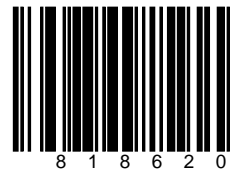
† 全方向スキャナのみ

1分後にパワー・
セーブ・モード[†]



スキャナが1分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

2分後にパワー・
セーブ・モード[†]

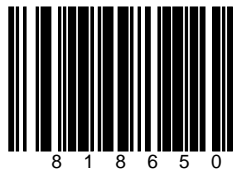


スキャナが2分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

セクション D

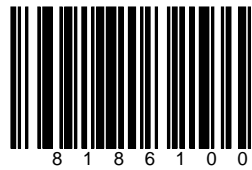
パワー・セーブ・モード

5 分後にパワー・
セーブ・モード[†]



スキャナが 5 分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

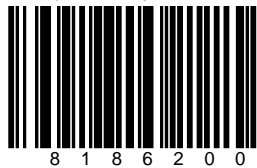
10 分後にパワー・
セーブ・モード[†]



スキャナが 10 分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

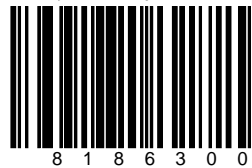
† 全方向スキャナのみ

20 分後にパワー・
セーブ・モード[†]



スキャナが 20 分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

30 分後にパワー・
セーブ・モード[†]



スキャナが 30 分間読取を
しない場合、省電力モー
ドに入ります。[†]

セクション D

パワー・セーブ・モード

デフォルト・パワー・セーブ・モード^{††}



^{††} MS7600/MS7220/MS7320
シリーズ・スキャナの場合
にのみ使用できます。

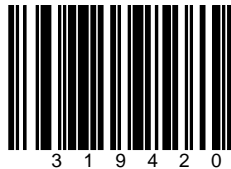
点滅パワー・セーブ・モード^{††}



プログラムされた非使用
時間の経過後にレーザー
をオフ/オンに点滅させま
す。

スキャナがバーコードを
認識すると、点滅モード
が終了します。

レーザー・オフ・
パワー・セーブ・
モード^{††}



プログラムされた非使用
時間の経過後にレーザー
をオフにします。^{††}

マルチ・ファンクショ
ン・ボタンを押すと、
MS7220 および MS7320
が起動します。

IR が移動を検出すると、
MS7600 が起動します。

レーザー・モーター・
オフ・パワー・セーブ・
モード^{††}



プログラムされた非使用
時間の経過後にレーザー
およびモーターをオフに
します。^{††}

マルチ・ファンクショ
ン・ボタンを押すと、
MS7220 および MS7320
が起動します。

IR が移動を検出すると、
MS7600 が起動します。

セクション D

パワー・セーブ・モード

デュアル#1 パワー・セーブ・モード^{††}



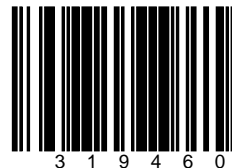
プログラムされた非使用時間の経過後にレーザーをオフ/オンに「点滅」させた後、30 分間の経過後にレーザーおよびモーターをオフにします。

マルチ・ファンクション・ボタンを押すと、MS7220 および MS7320 が起動します。

IR が移動を検出すると、MS7600 が起動します。

^{††} MS7600/MS7220/MS7320 シリーズ・スキャナの場合にのみ使用できます。

デュアル#2 パワー・セーブ・モード^{††}

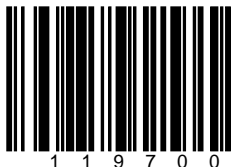


プログラムされた非使用時間の経過後にレーザーをオフにし、次に 30 分間の経過後にモーターをオフにします。

マルチ・ファンクション・ボタンを押すと、MS7220 および MS7320 が起動します。

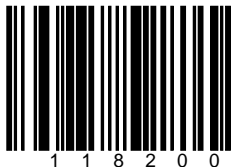
IR が移動を検出すると、MS7600 が起動します。

* パワー・セーブ・スイッチ許可

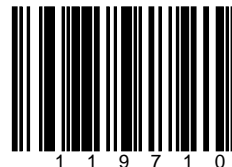


MS7220/MS7320 シリーズ・スキャナの場合にのみ使用できます。

* バーコード不在検出許可

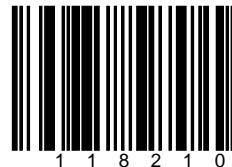


パワー・セーブ・スイッチ禁止



MS7220/MS7320 シリーズ・スキャナの場合にのみ使用できます。

バーコード不在検出禁止



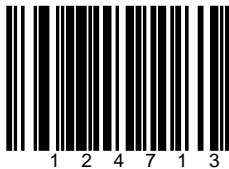
セクション D 日本のダブル・フィールドのサポート

日本のダブル・フィールド・バーコードをサポートするには、まずスキャナが次の設定にプログラミングされていることを確認します。

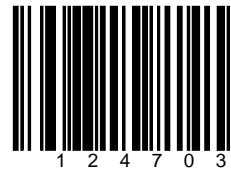
- セグメント化デコード禁止
- 2 読取バファ許可
- バーコード不在検出禁止
- 標準コード選択許可

次に、**日本 2 フィールド許可** バーコードを読取ります。

日本 2 フィールド許可



* 日本 2 フィールド禁止



次に、ダブル・フィールドのシンボルとして使用される照合バーコードを選択します。ダブル・フィールド・モードでは UPC/EAN バーコードのみが許可されることに注意してください。

バーコードごとに少なくとも 2 つのキャラクタを選択します。最大は、4 つの上位バーコードおよび 4 つの下位バーコードです。

例

上位コード・ペア 1 で最初の 2 つのキャラクタとして 54 を選択するには

1. 上位コード 1 キャラクタ 1 バーコード (D-31 ページを参照) を読取ります。
2. キャラクタ 5 in 54 の正しいコード・バイト値を決定します。
(セクション M のページ M-7 および M-8 の ASCII 参考表を参照)
 - a. コード・バイト 0 の読取
 - b. コード・バイト 5 の読取
 - c. コード・バイト 3 の読取
3. 上位コード 1 キャラクタ 2 バーコード (D-31 ページを参照) を読取ります。
4. キャラクタ 4 in 54 の正しいコード・バイト値を決定します
 - a. コード・バイト 0 の読取
 - b. コード・バイト 5 の読取
 - c. コード・バイト 2 の読取

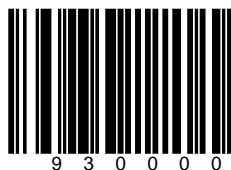
下位コード・ペア 1 の最初の 2 キャラクタとして 18 を選択するには

1. 下位コード 1 キャラクタ 1 バーコード (D-31 ページを参照) を読取ります。
2. キャラクタ 1 in 18 の正しいコード・バイト値を決定します。
(セクション M の ASCII 参考表を参照)
 - a. コード・バイト 0 の読取
 - b. コード・バイト 4 の読取
 - c. コード・バイト 9 の読取
3. 下位コード 1 キャラクタ 2 バーコード (D-31 ページを参照) を読取ります。
4. キャラクタ 8 in 18 の正しいコード・バイト値を決定します
(セクション M のページ M-7 および M-8 の ASCII 参考表を参照)
 - a. コード・バイト 0 の読取
 - b. コード・バイト 5 の読取
 - c. コード・バイト 6 の読取

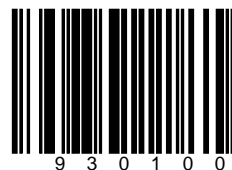
セクション D

日本のダブル・フィールドのサポート

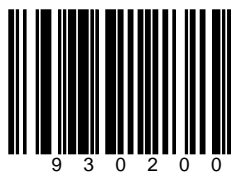
上位コード 1
キャラクタ 1



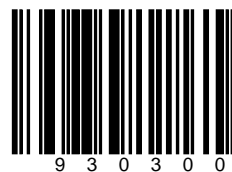
上位コード 1
キャラクタ 2



下位コード 1
キャラクタ 1



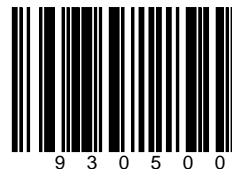
下位コード 1
キャラクタ 2



上位コード 2
キャラクタ 1



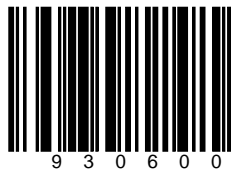
上位コード 2
キャラクタ 2



セクション D

日本のダブル・フィールドのサポート

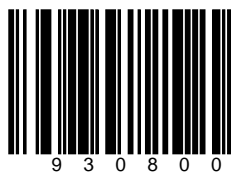
下位コード 2
キャラクタ 1



下位コード 2
キャラクタ 2



上位コード 3
キャラクタ 1



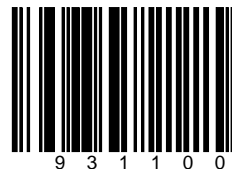
上位コード 3
キャラクタ 2



下位コード 3
キャラクタ 1



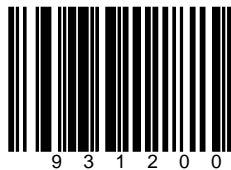
下位コード 3
キャラクタ 2



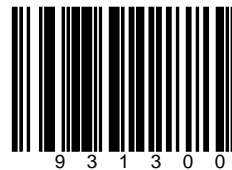
セクション D

日本のダブル・フィールドのサポート

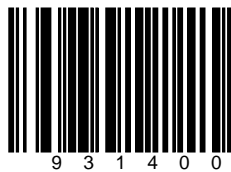
上位コード 4
キャラクタ 1



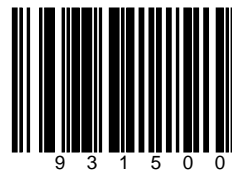
上位コード 4
キャラクタ 2



下位コード 4
キャラクタ 1



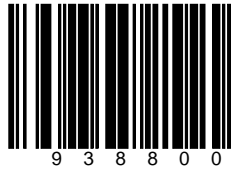
下位コード 4
キャラクタ 2



セクション D

日本のダブル・フィールドのサポート

日本トライアル時間



特別コード選択モードの場合、上記のバーコードの後、適切なタイムアウト値を表すセクション M の 3 コード・バイトを読み取ります。

1 は 100 ミリ秒に相当します。

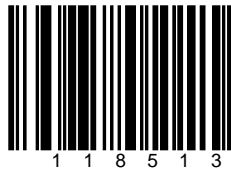
例:

適切なタイムアウトが 500 ミリ秒であるの場合は、上記のコードの後、コード・バイト 0、コード・バイト 0、およびコード・バイト 5 を読み取ります。

コード選択許可



エラー音許可



特別コードの選択が失敗したときに RAZZ エラー音を鳴らす能力を有効にします。

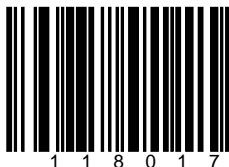
* エラー音禁止



セクション D

テスト・モード

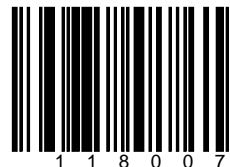
スキャナビリティー
ON



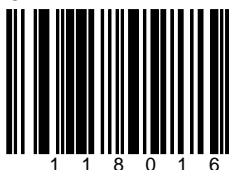
このオプションは読取が可能かどうかのテスト・モードです。

i Metrologic 社の
レップの指示なく
して有効にしない
でください。

* スキャナビリティー
OFF



読取カウント・モード
ON



このオプションを有効にすると、スキャナは読取カウント・テスト・モードに入り、スキャナの製品番号がホストに送信されます。

i Metrologic 社の
レップの指示なく
して有効にしない
でください。

* 読取カウント・モード
OFF



一時シンボル



一時シンボル・テスト・コードは、すべての主要タイプ・バーコード・シンボルを許可するとともに、必要なキャラクタの最小数を1に削減し、必要なITFキャラクタの最小数を2に設定し、さらに転送の接頭詞としてシンボル名を追加します。この設定は、スキャナの電源のオフ/オンを繰り返すたびに禁止されます。

i Metrologic 社の
レップの指示なく
して有効にしない
でください。

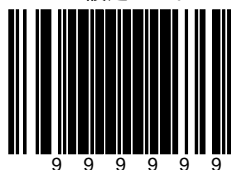
セクション E

構成可能な接頭詞、すべてのデータ

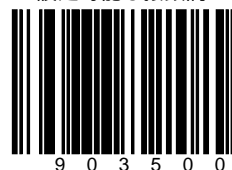


この設定項目を試す前に「設定モード IN/OUT」を読取ってください。また、x ページのマルチ・コード方式を参照してください。

IN/OUT 設定モード

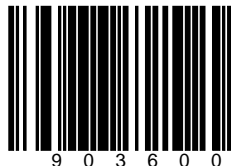


～ 設定可能な接頭詞 #1



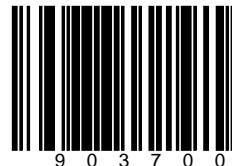
このオプションを選択すると、接頭 ID を付加してデータを送信できます。付加したいキャラクタが記載されているセクション M の 3 コード・バイト・シーケンスを指定してください。

～ 設定可能な接頭詞 #2



2 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。

～ 設定可能な接頭詞 #3



3 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。

～ 設定可能な接頭詞 #4



4 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。

～ 設定可能な接頭詞 #5

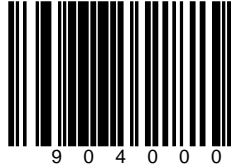


5 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。

セクション E

構成可能な接頭詞、すべてのデータ

～ 設定可能な接頭詞 #6



9 0 4 0 0 0

6 番目の設定可能な接頭
詞キャラクタを付加しま
す。

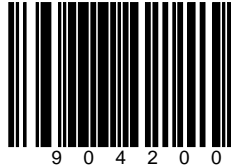
～ 設定可能な接頭詞 #7



9 0 4 1 0 0

7 番目の設定可能な接頭
詞キャラクタを付加しま
す。

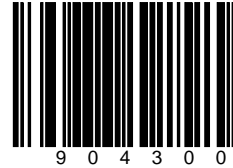
～ 設定可能な接頭詞 #8



9 0 4 2 0 0

8 番目の設定可能な接頭
詞キャラクタを付加しま
す。

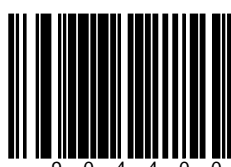
～ 設定可能な接頭詞 #9



9 0 4 3 0 0

9 番目の設定可能な接頭
詞キャラクタを付加しま
す。

～ 設定可能な接頭詞 #10



9 0 4 4 0 0

* すべての設定可能な接
頭詞をクリアする



9 9 9 9 8 5

セクション E

設定可能 ID キャラクタ、コード別

* 設定可能なコード
ID バイトを接頭詞として使用



ユーザーが設定可能な、
コード別 ID バイトはデータ
の前に送信されます。



これを接頭詞として使えば、接尾詞は使えない。

設定可能なコード
ID バイトを接尾詞として使用



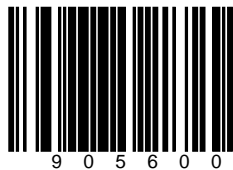
ユーザーが設定可能な、
コード別 ID バイトはデータ
の後に送信されます。



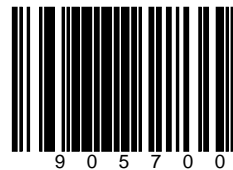
これを接尾詞として使えば、接頭詞は使えない。

ID キャラクタ

~ UPC-A ID設定[†]



~ UPC-E ID設定[†]



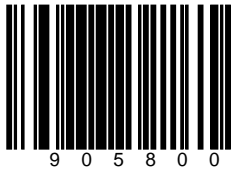
† マルチ・コード方式を使用の際、このバーコードを最初に読み取り、このバーコードと関連している独特の ID キャラクタを表している 3 コード・バイト (セクション M) のバーコードを読み取ります。(また、x ページのマルチコード方式を参照してください。)

Prefixes/Suffixes	E	4
-------------------	---	---

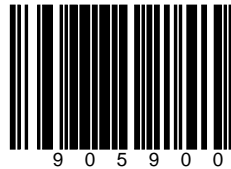
セクション E

設定可能 ID キャラクタ、コード別

~ EAN-8 ID 設定[†]

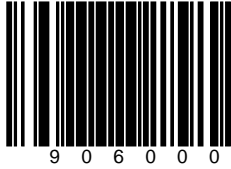


~ EAN-13 ID 設定[†]



[†] マルチ・コード方式を使用の際、
 このバーコードを最初に読取り、
 このバーコードと関連している独
 特の ID キャラクタを表している
 3 コード・バイト（セクション
 M）のバーコードを読取ります。
 （また、x ページのマルチコード
 方式を参照してください。）

~ Code 39 ID 設定[†]



~ Code 128 ID 設定[†]



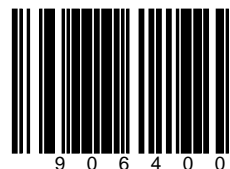
セクション E

設定可能 ID キャラクタ、コード別

~ Code 93 ID 設定[†]

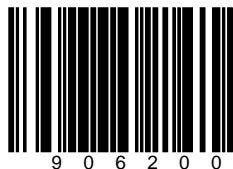


~ Code 11 ID 設定[†]



† マルチ・コード方式を使用の際、
このバーコードを最初に読取り、
このバーコードと関連している独
特の ID キャラクタを表している
3 コード・バイト (セクション
M) のバーコードを読取ります。
(また、x ページのマルチコード
方式を参照してください。)

~ テレペン ID 設定[†]



~ TRI-OPTIC ID 設定[†]

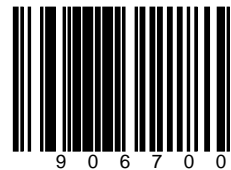


Prefixes/Suffixes

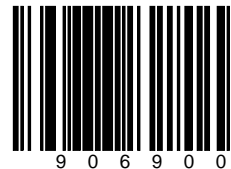
E 5

セクション E

設定可能 ID キャラクタ、コード別

～ スタンダード 2 of 5
ID 設定[†]～ インターリブド 2 of 5
ID 設定[†]

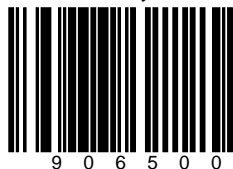
† マルチ・コード方式を使用の際、
このバーコードを最初に読取り、
このバーコードと関連している独
特の ID キャラクタを表している
3 コード・バイト（セクション
M）のバーコードを読取ります。
（また、x ページのマルチコード
方式を参照してください。）

～ マトリックス 2 of 5
ID 設定[†]～ Airline 2 of 5
ID 設定[†]

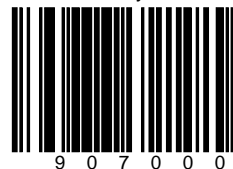
セクション E

設定可能 ID キャラクタ、コード別

~ MSI Plessey ID 設定[†]

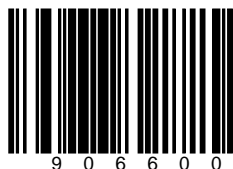


~ UK Plessey ID 設定[†]



† マルチ・コード方式を使用の際、
このバーコードを最初に読取り、
このバーコードと関連している独
特の ID キャラクタを表している
3 コード・バイト（セクション
M）のバーコードを読取ります。
（また、x ページのマルチコード
方式を参照してください。）

~ Codabar ID 設定[†]



* すべての設定可能な
特別IDをクリヤする[†]



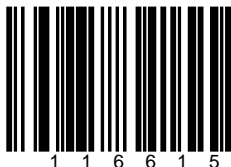
Prefixes/Suffixes

E 7

セクション E

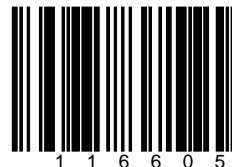
標準の接頭詞キャラクタ

STX 接頭詞 許可

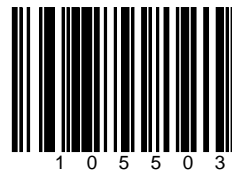


これを有効にすれば、スキャナは **Start of TeXt** (ASCII 02H) を各バーコード・データの前に付加して転送します。

* STX 接頭詞 禁止



Start of TeXt (ASCII 02H) を各バーコード・データの前に付加して転送しない。

Rochford-Thomson
モード許可* Rochford-Thomson
モード禁止

AIM ID キャラクタ許可

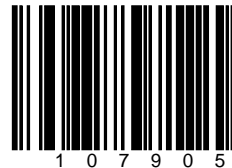


スキャナは AIM シンボル ID を転送します。



一部のスキャナ・モデルはこの設定をサポートしません。

* AIM ID キャラクタ禁止



スキャナは AIM シンボル ID を転送しません。

セクション E

標準の接頭詞キャラクタ

UPC 接頭 ID 許可

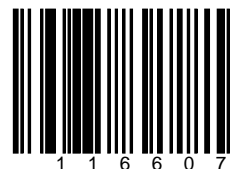


これを有効にすれば、スキャナは UPC/EAN の前に接頭詞を付加してデータを転送します。

接頭詞は

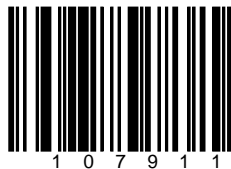
A (UPC-A)、
E0 (UPC-E)、
F (EAN-13)、それに
FF (EAN-8) です。

* UPC 接頭 ID 禁止



UPC/EAN コードに対して接頭詞を ID の前に付けない。

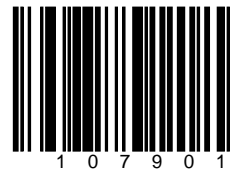
NCR 接頭 ID 許可



これを有効にすれば、スキャナは下記のコード体系に接頭詞を付加してデータを転送します。

A (UPC-A)、
E0 (UPC-E)、
FF (EAN-8)、
F (EAN-13)、
B1 (Code 39)、
B2 (ITF)、それに
B3 (Code 128 と他のコード)

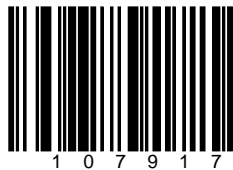
* NCR 接頭 ID 禁止



セクション E

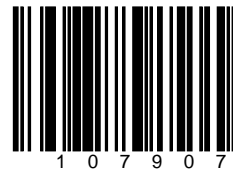
標準の接頭詞キャラクタ

Nixdorf ID キャラクタ
許可



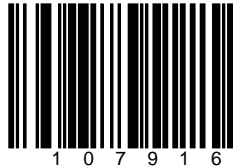
これを有効にすれば、
Siemen/Nixdorf レジス
ター用の確認コードを
バーコードの前に付加し
てデータを転送します。

* Nixdorf ID キャラクタ
禁止



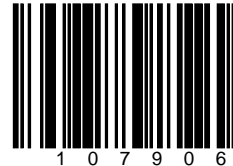
このオプションは
Siemens/Nixdorf 確認
コードを転送しません。

SANYO ID キャラクタ
許可



Sanyo ID キャラクタを
転送します。

* SANYO ID キャラクタ
禁止



Sanyo ID キャラクタは
転送しません。

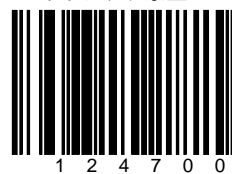
セクション E

標準の接頭詞キャラクタ

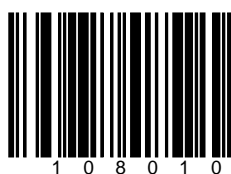
TEC レジスター・
フォーマット
ID キャラクタ許可



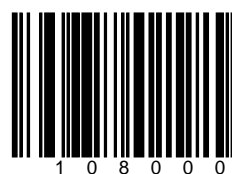
TEC レジスター・
フォーマット
ID キャラクタ禁止



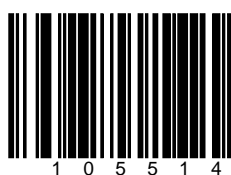
TEC MA1530
ID キャラクタ許可



TEC MA1530
ID キャラクタ禁止

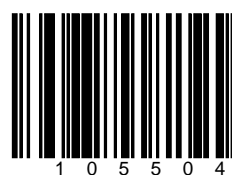


シンボル接頭詞許可



このオプションは、バー
コード転送の前にシンボ
ルの記述を追加します。

シンボル接頭詞禁止

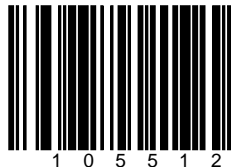


このオプションは、バー
コード転送の前にシンボ
ルの記述を追加しませ
ん。

セクション E

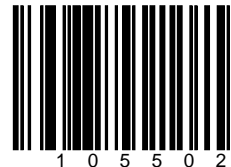
標準の接頭詞キャラクタ

製造者 ID 接頭詞 許可



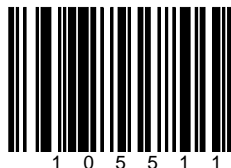
スキャナ・メーカーを確認するために
「METROLOGIC」を
バーコード・データの
前に付加して転送します。

* 製造者 ID 接頭詞 禁止

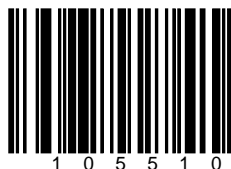
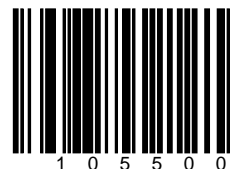


製造者確認コードは転送
されません。

C 接頭詞 許可



* C 接頭詞 禁止

UPC/EAN の「\$」接頭
ID 許可* UPC/EAN の「\$」接頭
ID 禁止

セクション E

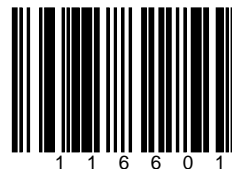
標準の接頭詞キャラクタ

Tab 接頭詞 許可



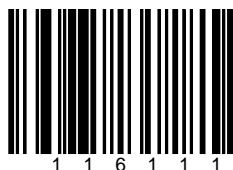
スキャナは TAB (ASCII 09H) をバーコード・データの前に付加して転送します。

* Tab 接頭詞 禁止



スキャナは TAB を転送しません。

SNI Beetle モード 許可



* SNI Beetle Mode 禁止



Cipher 1021 ID 許可



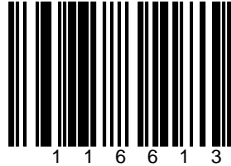
* Cipher 1021 ID 禁止



セクション E

標準の接尾キャラクタ

* CR 接尾詞 許可



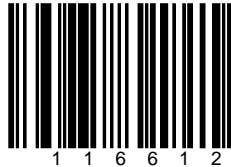
これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に **CR** を転送します。

CR 接尾詞 禁止



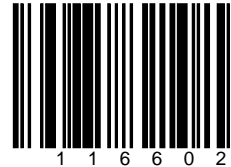
スキャナはバーコード・データの後に **CR** を転送しません。

* LF 接尾詞 許可



これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に **LF** を転送します。

LF 接尾詞 禁止

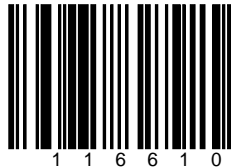


スキャナはバーコード・データの後に **LF** を転送しません。



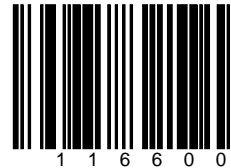
キーボード・ウェッジ・デフォルトが入っている場合は無効になります。

Tab 接尾詞 許可



これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に **TAB** (ASCII 09H) を転送します。

* Tab 接尾詞 禁止

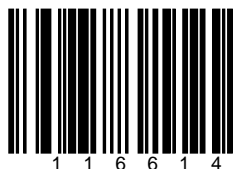


スキャナは、各バーコードの後に **TAB** (ASCII 09H) を転送しません。

セクション E

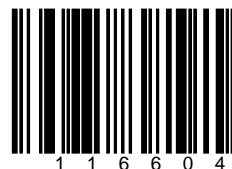
標準の接尾キャラクタ

ETX 接尾詞 許可



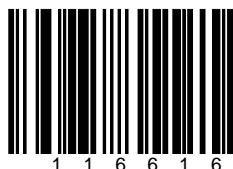
これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に **End of TeXt** (ASCII 03H) を転送します。

ETX 接尾詞 禁止



これを無効にすると、スキャナは **End of TeXt** (ASCII 03H) を転送しません。

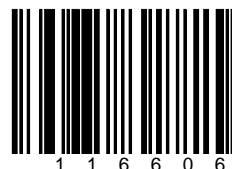
UPC 接尾 ID 許可



これを有効にすると、スキャナは UPC/EAN コードの後に接尾詞を転送します。

その内容は、
A (UPC-A)、
E (UPC-E)、
F (EAN-13) それに
F (EAN-8) です。

* UPC 接尾 ID 禁止

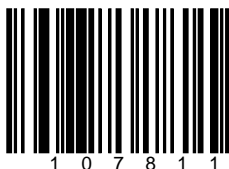


UPC/EAN コードの後に接尾詞は転送しません。

セクション E

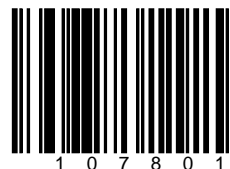
データ長の 2 回一致チェック (LRC)

LRC 計算の送信 許可



このオプションを選ぶと、スキャナはバーコード・データの後に LRC チェック・キャラクタを出力します。

* LRC 計算の送信 禁止



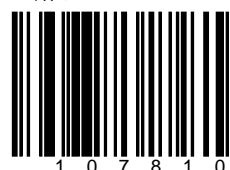
バーコード・データの後に LRC (チェック・キャラクタ) を出力しません。

* LRC を最初のバイトから始める



スキャナは LRC チェック・ディジットを最初のキャラクタから計算し始めます。

LRC を 2 番目のバイトから始める



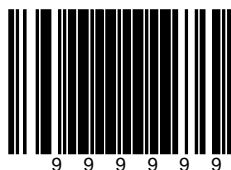
スキャナは LRC チェック・ディジットを 2 番目のキャラクタから計算し始めます。

セクション E ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ

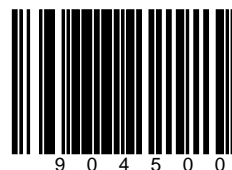


この設定項目を選ぶ前に「IN/OUT 設定モード」を読取ってください。また、
x ページのマルチ・コード方式を参照してください。

IN/OUT 設定モード

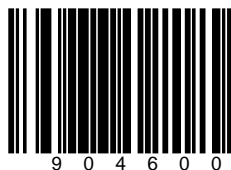


～ 設定可能な接尾
キャラクタ#1



これを選択すると、接尾
ID がデータに付加され指
定されます。
このコードと付加したい
キャラクタが記載されて
いるセクション M の 3
コード・バイト・シーケ
ンスを併用して使ってく
ださい。

～ 設定可能な接尾
キャラクタ#2



2 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

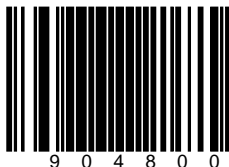
～ 設定可能な接尾
キャラクタ#3



3 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

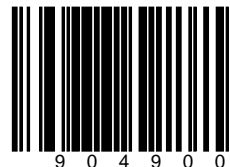
セクション E ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ

～ 設定可能な接尾
キャラクタ#4[†]



4 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

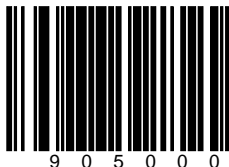
～ 設定可能な接尾
キャラクタ#5[†]



5 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

† マルチ・コード方式を使用の際、
このバーコードを最初に読取り、
目的のキャラクタを表す 3 コー
ド・バイト（セクション M）の
バーコードを読取ります（また、
x ページのマルチコード方式を参
照してください）。

～ 設定可能な接尾
キャラクタ#6[†]



6 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

～ 設定可能な接尾
キャラクタ#7[†]



7 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

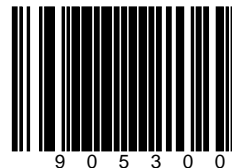
セクション E ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ

~ 設定可能な接尾
キャラクタ#8[†]



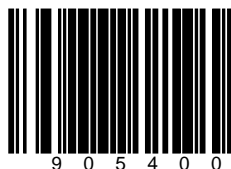
8 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

~ 設定可能な接尾
キャラクタ#9[†]



9 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

~ 設定可能な接尾
キャラクタ#10[†]



10 番目の設定可能な接尾
キャラクタを指定しま
す。

† マルチ・コ - ド方式を
使用の際、このバー
コードを最初に読取
り、目的のキャラクタ
を表す 3 コード・バイ
ト（セクション M）の
バーコードを読取りま
す（また、x ページの
マルチコード方式を参
照してください）。

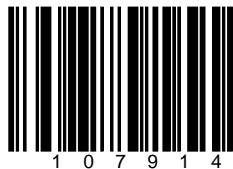
* すべてのユーザー設定
可能接尾詞のクリア



セクション E

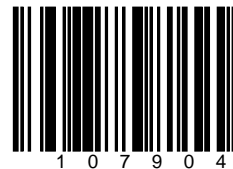
特別フォーマット

SINEKO モード許可

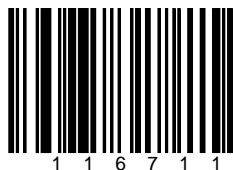


1 0 7 9 1 4

* SINEKO モード禁止



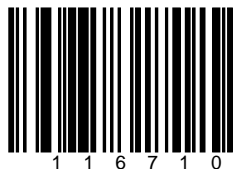
1 0 7 9 0 4

Newcode フォーマット・
モード A 許可

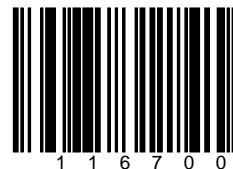
1 1 6 7 1 1

* Newcode フォーマット・
モード A 禁止

1 1 6 7 0 1

Newcode フォーマット・
モード B 許可

1 1 6 7 1 0

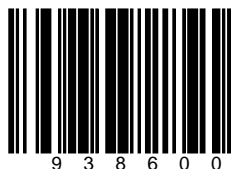
* Newcode フォーマット・
モード B 禁止

1 1 6 7 0 0

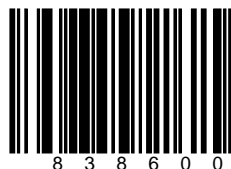
キャラクタを置換するには

1. *IN/OUT 設定モード*・バーコードを読取ります。
(このガイドの冒頭の x ページを参照)
2. コードを置換するキャラクタを読取ります (以下を参照)
3. 置換するキャラクタの ASCII コード・バイト値を読取ります。
(セクション M の ASCII 参考表を参照)
4. 置換キャラクタ・バーコードを読取ります。
5. 置換キャラクタの ASCII コード・バイト値を読取ります。
6. *IN/OUT 設定モード*・バーコードを読取ります。
(このガイドの冒頭の x ページを参照)

置換するキャラクタ



置換なし



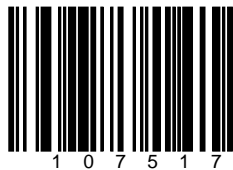
置換後のキャラクタ



セクション F

UPC/EAN フォーマット

* UPC-A チェック・ディ
ジットを転送する



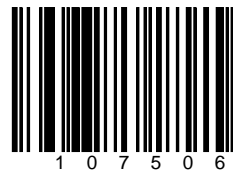
UPC-A チェック・ディ
ジットを転送しない



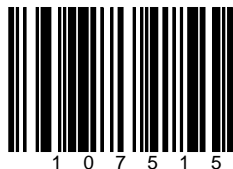
UPC-E チェック・ディ
ジットを転送する



* UPC-E チェック・ディ
ジットを転送しない



UPC-E を 12 桁に
拡張する



UPC-E コードを 12 桁と
同等の UPC-A コードに
拡張する。

* UPC-E を 12 桁に
拡張しない



UPC-E コードを 12 桁と
同等の UPC-A コードに
拡張しない。

セクション F

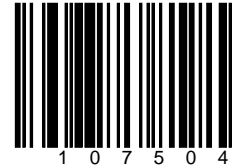
UPC/EAN フォーマット

UPC-A を EAN-13 に
変換する



このオプションが選択され
たら、スキャナは
UPC-A を先頭「0」を付
加し EAN-13 に変換し
データは転送されます。

* UPC-A を EAN-13 に
変換しない



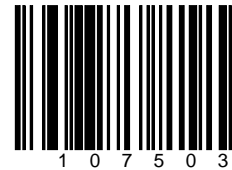
このオプションでは、ス
キャナは UPC-A を EAN-
13 に変換しません。

UPC-E に先頭「0」を
転送する



これが選ばれたら、UPC-
E コードの先頭に「0」を
付加してデータが転送さ
れます。

UPC-E に先頭「0」を
転送しない



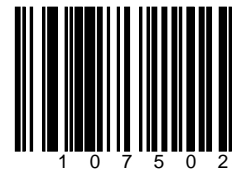
このオプションでは、
UPC-E コードに先頭の
「0」を転送しません。

EAN-8 を EAN-13 に
変換する



これが選ばれたら、ス
キャナは EAN-8 の先頭に
「0」を 5 個付加して
EAN-13 と同等の 13 桁で
データが転送されます。

* EAN-8 から EAN-13 へ
変換しない



スキャナは、EAN-8 を
EAN-13 に変換しませ
ん。

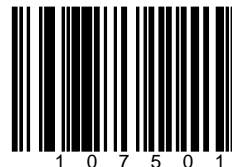
セクション F

UPC/EAN フォーマット

* UPC-A ナンバー・
システムを転送する

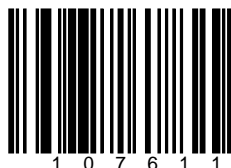


UPC-A ナンバー・
システムを転送しない

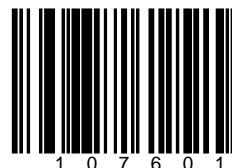


i Metrologic は、こ
の設定の使用を避け
ることを強くお勧
めします。データ
ベース内でナンバー
が重複する可能性が
あります。

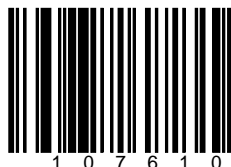
* UPC-A MFR #を
転送する



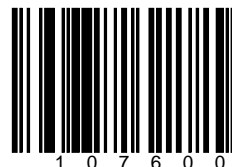
UPC-A MFR #を
転送しない



* UPC-A ITEM#を転送す
る



UPC-A ITEM#を転送しな
い



コード・フォーマット

F 3

コード・フォーマット

F

4

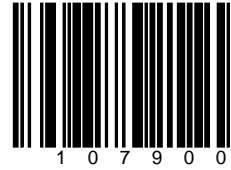
セクション F

UPC/EAN フォーマット

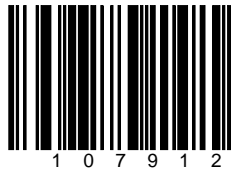
* EAN-8 チェック・ディ
ジットを転送する



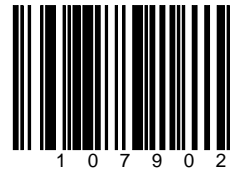
EAN-8 チェック・ディ
ジットを転送しない



* EAN-13 チェック・ディ
ジットを転送する



EAN-13 チェック・ディ
ジットを転送しない

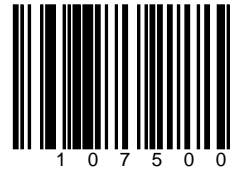


GTIN-14 フォーマット†

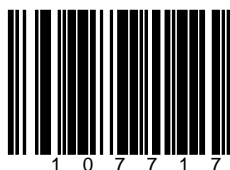


† MS7220/MS7320/MS7600
スキャナの場合にのみ使
用できます。

非GTIN-14フォーマット†

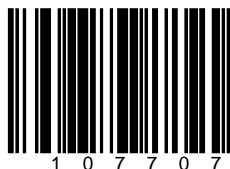


NW-7 のスタート/ストップ・
キャラクタを転送する



NW-7 のスタート/ストップ・
キャラクタをバーコード・デー
タの前後に転送します。

* NW-7 のスタート/ストップ・
キャラクタを転送しない



NW-7 のスタート/ストップ・
キャラクタをバーコード・デー
タの前後に転送しません。

セクション F

Codabar (NW-7) フォーマット

CLSI 編集 許可



ホストにデータを転送する
前に CLSI 編集を行いま
す。



このオプションは
NW-7 の 14 桁の
データのみ有効。

* CLSI 編集 禁止

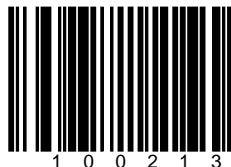


このオプションはホストに
データを転送する前に
CLSI 編集を行いません。

セクション F

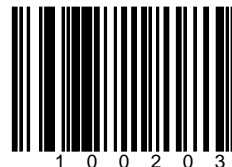
Code 39 フォーマット

MOD 43 チェックの
Code 39 許可



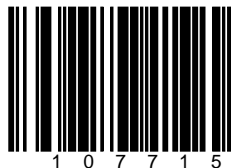
スキャナは、有効なモ
ジュラス 43 チェック・
ディジットを持つ Code
39 バーコードのみを読取
ります。

* MOD 43 チェックの
Code 39 禁止



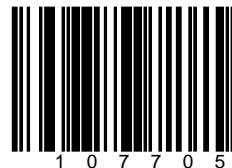
スキャナは、モジュラス
43 チェック・ディジット
について Code 39 バー
コードをテストしませ
ん。

Code 39 の Mod 43
チェック・ディジットを
転送する



この設定は Code 39 オプ
ションの Mod 43 チェッ
クと関連しており、両方
とも有効にする必要があ
ります。

* Code 39 の Mod 43
チェック・ディジット
を転送しない



このオプションは Code
39 の Mod 43 チェック・
キャラクタを転送しませ
ん。

セクション F

Code 39 フォーマット

Code 39 スタート/ストップ・
キャラクタを転送する



スキャナは Code 39 のスター
ト/ストップ・キャラクタを
バーコード・データの前後に
転送します。

* Code 39 スタート/ストッ
プ・キャラクタを転送しない

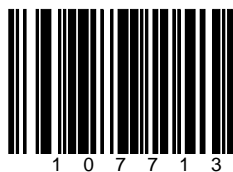


スキャナは Code 39 のスター
ト/ストップ・キャラクタを
バーコード・データの前後に
転送しません。

セクション F

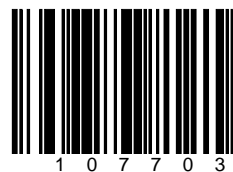
CODE 11 およびテレペン

Code 11 チェック・
ディジットを転送する



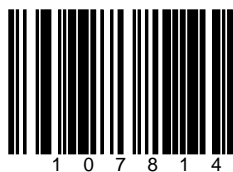
セクション A の「Code
11 許可」設定と併用する
と、スキャナは Code 11
チェック・キャラクタを
転送します。

* Code 11 チェック・
ディジットを
転送しない

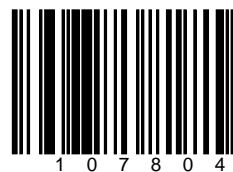


スキャナは、Code 11
チェック・キャラクタを
転送しません。

テレペンの^ΛL から
E 変換許可



* テレペンの^ΛL から
E 変換禁止



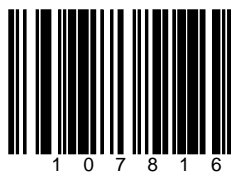
コード・フォーマット

F 9

セクション F

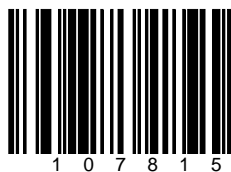
Plessey

UK Plessey チェック・
ディジットを転送する

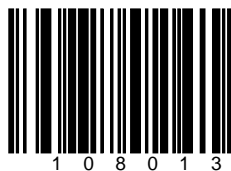


セクション A の「UK
Plessey 許可」設定と併
用すると、スキャナは
UK Plessey チェック・
ディジット・キャラクタ
を転送します。

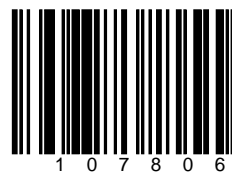
UK Plessey 特別
フォーマット許可



誤った UK Plessey
ストップ・キャラクタの
処理

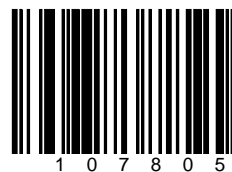


* UK Plessey チェック・
ディジットを転送しな
い

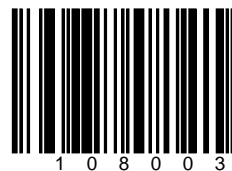


UK Plessey チェック・
ディジット・キャラクタ
を転送しません。

UK Plessey 特別
フォーマット禁止



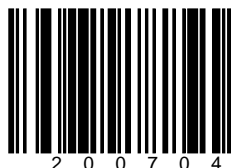
* 標準の UK Plessey
ストップ・キャラクタ
処理



セクション F

Plessey

* MSI Plessey チェック・ディジットなし



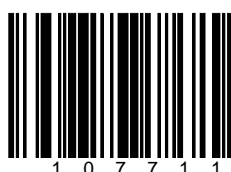
スキャナは、チェック・ディジットについて MSI Plessey バーコードをテストしません。

MSI Plessey MOD 10/10
チェック・ディジット
許可



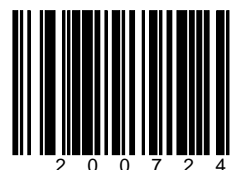
スキャナはダブル・モジュラス 10 チェック・ディジットについて MSI Plessey バーコードをテストします。

MSI Plessey チェック・ディジットを転送する



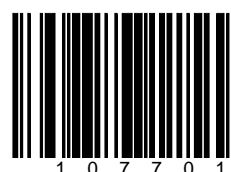
このオプションは「MSI Plessey Mod オプションを有効」の項目と併行することが必要です。

* MSI Plessey MOD 10
チェック・ディジット
許可



スキャナはシングル・モジュラス 10 チェック・ディジットについて MSI Plessey バーコードをテストします。

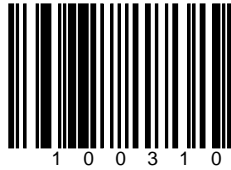
* MSI Plessey チェック・ディジットを転送しない



スキャナは MSI Plessey のチェック・ディジット・キャラクタを転送しません。

セクション F インターリブド 2 of 5 コード・フォーマット

ITF の Mod 10 チェック
許可



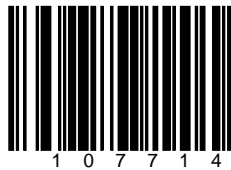
スキャナは、モジュラス
10 チェック・ディジット
を持つインターリブド 2
of 5 (ITF) パーコードの
みを読取ります。

* ITF の Mod 10 チェック
禁止



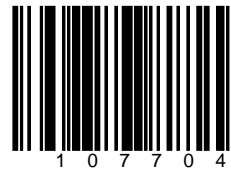
スキャナは、モジュラス
10 チェック・ディジット
についてインターリブド 2
of 5 (ITF) パーコードをデ
ストしません。

ITF の Mod 10 チェック・
ディジットを転送する



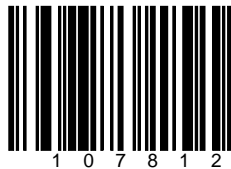
これを選択すると、ス
キャナは ITF の Mod 10
チェック・キャラクタを
転送します。

* ITF の Mod 10 チェッ
ク・ディジットを
転送しない

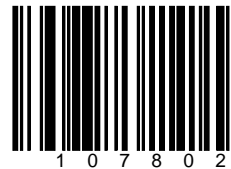


転送しない：これを選択
すると、スキャナは ITF の
Mod 10 チェック・キャラ
クタを転送しません。ITF
の Mod 10 チェックと関連
していて、両方の設定が有
効になっている必要があり
ます。

マトリックス 2 of 5
チェック・ディジットを
転送する



* マトリックス 2 of 5
チェック・ディジットを
転送しない



* RS-232 モード許可



これを有効にすると、ス
キャナは RS-232 \pm 12 V
シリアル出力となりま
す。

RS-232

G 2

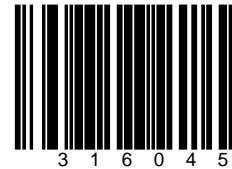
セクション G

パリティの設定



パリティ・ビットはデータ送信のエラーをキャッチする余分なデータ・ビットです。スキャナのパリティはホストのパリティと同じ設定にする必要があります。

パリティなし

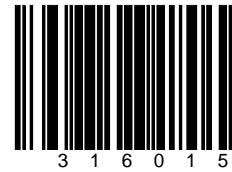


奇数パリティ



奇数パリティは1か0を選び、データ・ビットの奇数が1になるようにします。

* スペース・パリティ



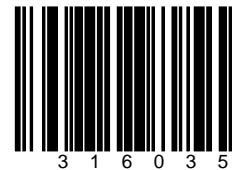
スペース・パリティは常に0を設定します。

偶数パリティ



偶数パリティは1か0を選び、データ・ビットの偶数が1になるようにします。

マーク・パリティ



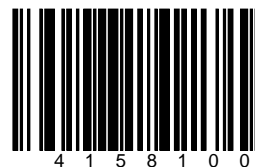
マーク・パリティは常に1を設定します。

セクション G

ボーレート

「ボー」または「ボー・レート」とは、データの転送速度です。ホスト装置に一致するボーをスキャナでも選択します。

115200 ボーレート



57600 ボーレート



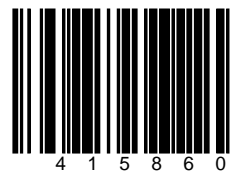
38400 ボーレート



19200 ボーレート

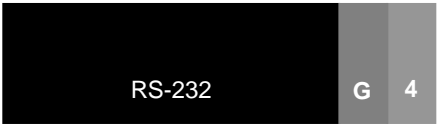


14400 ボーレート



RS-232

G 3



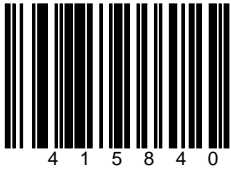
セクション G

ボーレート

* 9600 ボーレート



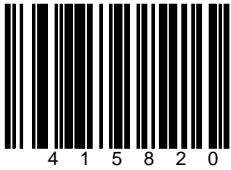
4800 ボーレート



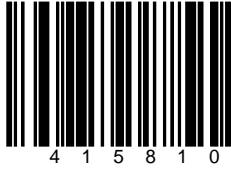
2400 ボーレート



1200 ボーレート



600 ボーレート



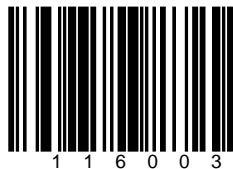
300 ボーレート



セクション G

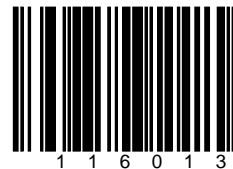
データ/ストップ・ビット

* 7データ・ビット

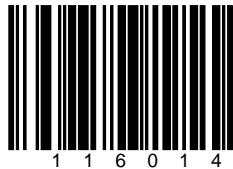


それぞれのキャラクタが
送信されるデータ・ビッ
ト数です。

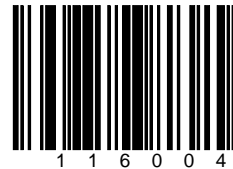
8データ・ビット



1ストップ・ビット



* 2ストップ・ビット



RS-232

G 5

セクション G

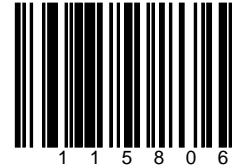
ハード・ハンドシェーク

RTS/CTS
ハンドシェーク許可



RTS 信号を出力し、CTS 信号を待機してデータを転送します。

* RTS/CTS
ハンドシェーク禁止



RTS/CTS ハンドシェークは使わない。

* キャラクタ RTS/CTS



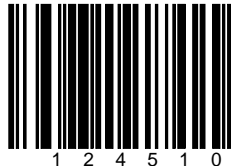
各キャラクタの RTS 信号をアクティベートしたり、非アクティベートする。

メッセージ RTS/CTS



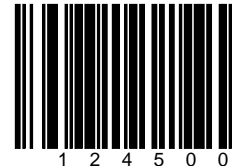
最初のキャラクタを転送する前に RTS をアクティベートし、最後のキャラクタが転送され終わるまで、アクティブにしておく。

逆 RTS ポラリティ
(RSV1)



+ 12 V = 非アクティブ
- 12 V = アクティブ

* 標準 RTS ポラリティ

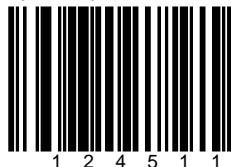


標準 RTS ポラリティを使用
- 12 V = 非アクティブ
+ 12 V = アクティブ

セクション G

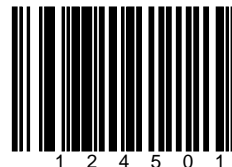
ハード・ハンドシェーク

逆 CTS ポラリティ
(RSV2)



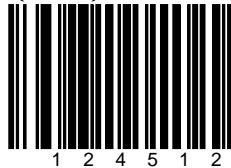
+ 12 V = 非アクティブ、
送信しない
- 12 V = アクティブ、
送信 OK

* 標準 CTS ポラリティ



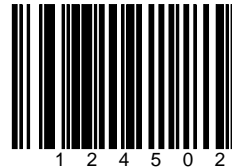
- 12 V = 非アクティブ、
送信しない
+ 12 V = アクティブ、
送信 OK

RTS をアクティベート
し、CTS を待機しない
(RSV3)



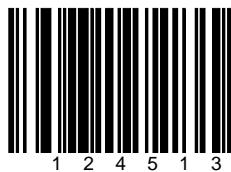
送信のために RTS をアク
ティベートするが、CTS
を待機しません。

* RTS をアクティベート
し、CTS を待機



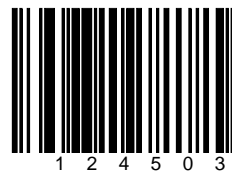
RTS をアクティベートし
た後に CTS を待機しま
す。

RTS の前に CTS を
テストする (RSV4)



CTS が既にアクティブな
場合、RTS をアクティ
ベートしません。

* RTS の前に CTS を
テストしない



CTS が既にアクティブな
場合、テストはせずに
RTS をアクティベート
します。

RS-232

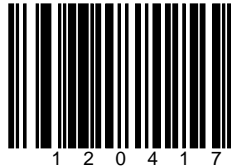
G

8

セクション G

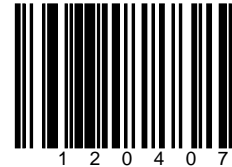
ハード・ハンドシェーク

CTS 読取送信

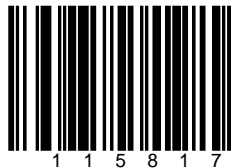


CTS ラインを使用することにより、デコードされたバーコードの転送が可能になります。

* CTS 読取送信なし

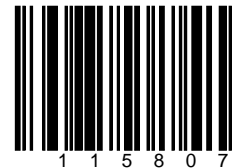


DTR サポート許可



スキャナは、Data Terminal Ready (DTR) 信号が非アクティブになると読取を停止します。

* DTR サポート禁止



RTS カウンター・
トグル許可



正常に読取った際にスキャナは RTS ラインをトグルします。

* RTS カウンター・
トグル禁止



セクション G

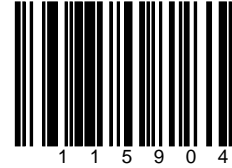
ソフト・ハンドシェーク

XON/XOFF ハンドシェーク許可



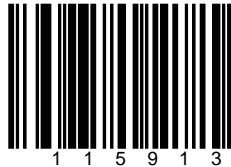
これを有効にして XOFF (ASCII 13H) を受信すると、スキャナは送信をストップします。XON (ASCII 11H) を受信したら送信は再び開始します。

* XON/XOFF ハンドシェーク禁止



スキャナは XON/XOFF をテストしません。

ACK/NAK 許可

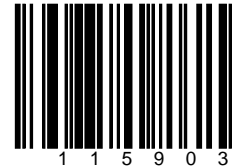


データ送信後にホストから ACK (06H) か NAK (15H) 反応を待機します。

If ACK を受信した時、通信サイクルを完了し多くのデータを受けつけます。

NAK を受信した時、最後のデータのみ送信し ACK/NAK を再び待機します。

* ACK/NAK 禁止

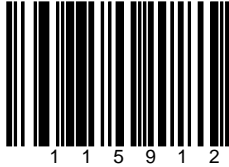


ACK/NAK ハンドシェークをサポートしません。

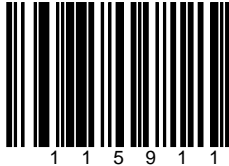
セクション G

ソフト・ハンドシェーク

O/N ハンドシェーク許可



この設定を使用するには
ACK/NAK ハンドシェーク
(G9 ページ) を許可する
必要があります。

ACK/NAK の BEL/CAN を
サポート

BEL (07H) を受信した
時、スキャナはピープ音を
3 回鳴動し通信ループから
退出します。CAN (18H)
を受信するとスキャナは
ピープ音なしに通信ループ
を退出します。

Razz コマンド許可

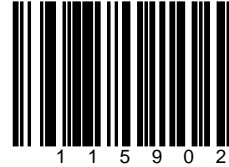
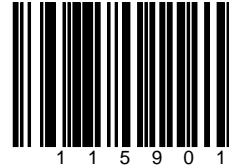


スキャナは、z の受信時に
RAZZ を 1 回行います。z
の前のキャラクタが数値で
あり、z の 1 秒以内に送信
された場合、RAZZ 音が複
数回鳴る場合があります。



この設定では、通常
の BEL コマンドをア
クティベートする必
要があります。

O/N ハンドシェーク禁止

* ACK/NAK の BEL/CAN
を無視

通信ループで BEL/CAN
キャラクタを無視します。

Razz コマンド禁止

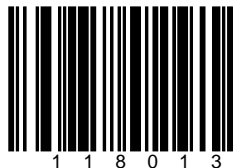


通信ループ内の z キャラク
タを無視します。

セクション G

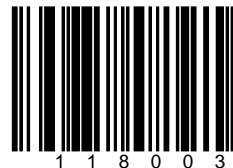
ソフト・ハンドシェーク

5 回の ACK/NAK
タイムアウト許可



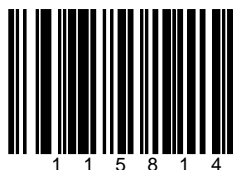
通信ループから退出する
前に、データの NAK 送信
を 5 回まで試みます。

* 5 回の ACK/NAK
タイムアウト禁止

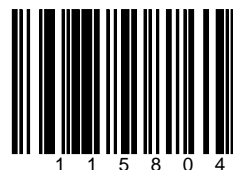


5 回の NAK サイクルに限
らず、無限に送信を行
います。

5 回の NAK 再試行を許可



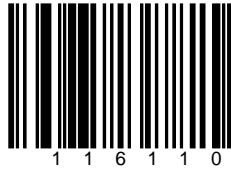
5 回の NAK 再試行を禁止



セクション G

その他の設定

French PC ターム許可



これを有効にすると、スキャナは ASCII データ・キャラクタの代わりに PC タイプの make/break 読取コードを転送します。読取コードは WYSE French PC タームに合います。

* French PC ターム禁止



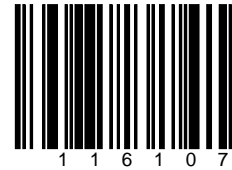
French PC ターム・モードは転送しません。

USA Wyse PC 許可



USA Wyse PC 形式のキーボードの PCTERM モードを許可

USA Wyse PC 禁止

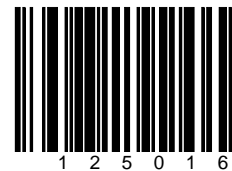


USA Wyse PC 形式のキーボードの PCTERM モードを禁止

* データ受信許可



データ受信禁止

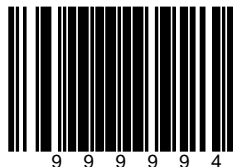


5 秒後に受信ポートを禁止します。

セクション H

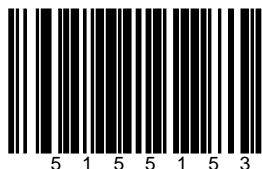
キーボード・エミュレーションの有効

キーボード・ウェッジの
デフォルトをロード



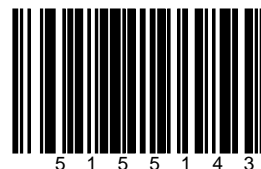
キーボード・ウェッジ・
モードのデフォルト設定を
ロードします。

独立キーボード・
エミュレーション許可



外付キーボードにケーブル
が接続されていない特別の
独立キーボード・モデルに
使います。このモードを有
効にすれば、スキャナは
キーボードに「パワーON」
データを送信し、ハードウ
ェアを設定し、キーボード
の接続をシミュレートしま
す。

* キーボード・ウェッジ・
エミュレーション許可



外部キーボードの使用時に
設定します。バーコード・
データが利用可能でない場
合に、標準の PC キーボー
ドによる通信を可能にする
ウェッジ・モードで転送し
ます。

セクション H

国別/読取コード表の選択

* 米国キーボード



4 1 6 2 6 0

米語キーボードを有効に
します。

スイス・キーボード



4 1 6 2 8 0

スイス語のキーボードを
有効にします。

スペイン・キーボード



4 1 6 2 5 0

スペイン語のキーボード
を有効にします。

イタリア・キーボード



4 1 6 2 4 0

イタリア語のキーボード
を有効にします。

ドイツ・キーボード



4 1 6 2 3 0

ドイツ語のキーボードを
有効にします。

フランス・キーボード



4 1 6 2 2 0

フランス語のキーボード
を有効にします。

セクション H

国別/読取コード表の選択

英国キーボード



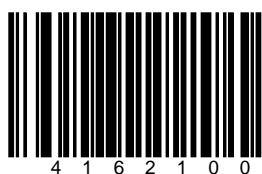
英語のキーボードを有効にします。

ベルギー・キーボード



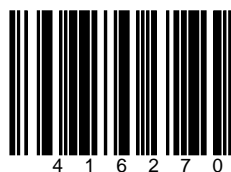
ベルギー語のキーボードを有効にします。

日本キーボード



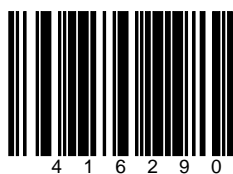
日本語のキーボードを有効にします。

IBM 4700 ファイナンシャル・キーボード



IBM 4700 ファイナンシャル・キーボードを有効にします。

スウェーデン/フィンランド
キーボード

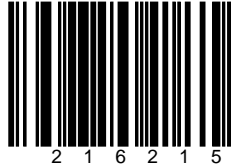


スウェーデン語/フィンランド語のキーボードを有効にします。

セクション H

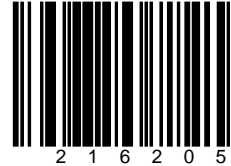
キーボード/システム・タイプ

* AT キーボード



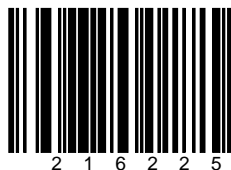
AT コンピュータ (IBM PS/2 およびコンパチ・モデル 50, 55, 60, 80 を含む) の使用の場合、このメニューを読取ってください。

XT キーボード



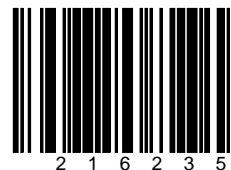
XT コンピュータを使用の際は、このメニューを読取ってください。

PS/2 キーボード



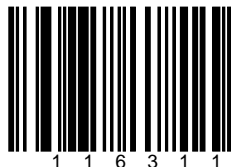
PS/2 コンピュータ (IBM PC およびコンパチ・モデル 30, 70, 8556 を含む) を使用の場合、このメニューを読取ってください。

ターミナル・キーボード・エミュレーション



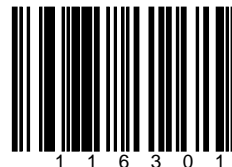
上記のコードを読取ると、ターミナル・キーボード・エミュレーション・モードが許可されます。

Make コードのみ
転送する



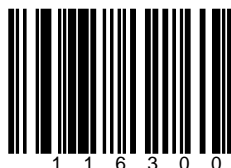
i Metrologic の担当者
からの指示がない限り
読取らないでくだ
さい。

* Make/Break コードを
転送する



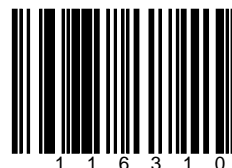
i Metrologic の担当者
からの指示がない限り
読取らないでくだ
さい。

F0H Break コードを
転送しない



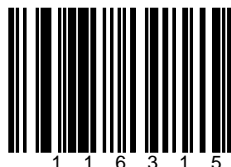
このスキャナは F0H
break コード・シーケ
ンスを転送しません。

* F0H Break コードを
転送する



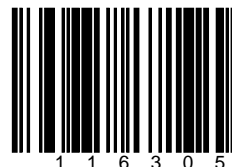
このスキャナは F0H
break コード・シーケ
ンスを転送します。

Cleanup ビットを
転送する



NEC コンピュータのある
モデルのみに適用しま
す。

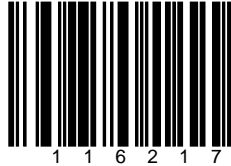
* Cleanup ビットを
転送しない



セクション H

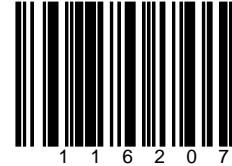
特別キーボードの設定

Alt モード許可



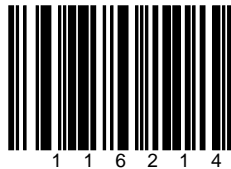
これを有効にすると、スキャナはこのキーボード・シーケンスをコピーします。Alt キーをホールドして適当なキャラクターに対応する 10 進数をタイプしてください。

* Alt モード禁止



i 注意: ホストのアプリケーション・ソフトが Alt キーを「ホット」キーとして使う場合、Alt モードは無効にしてください。

オート・ディテクト・モード (AT/PS2) 許可



Caps ロック状態を自動的に検知します。

* オート・ディテクト・モード (AT/PS2) 禁止



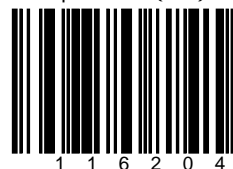
これを無効にすると、Caps ロック設定はサポートされません。

Caps ロック (XT) 許可



1 1 6 2 1 4

* Caps ロック (XT) 禁止



1 1 6 2 0 4

これを無効にすると、
Caps ロック設定はサポー
トされません。

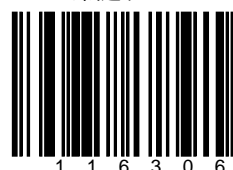
数字をキーパッド・
データとして転送する



1 1 6 3 1 6

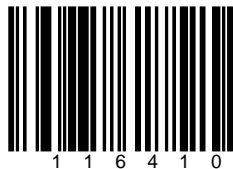
これを有効にすると、す
べてのデータはキーパッ
ドに入力されたデータと
して送信されます。

* 数字を通常のデータと
して転送する



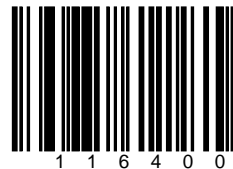
1 1 6 3 0 6

予約設定項目有効



1 1 6 4 1 0

* 予約設定項目無効

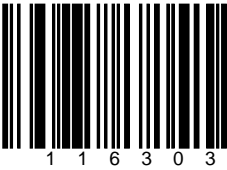


1 1 6 4 0 0

セクション H

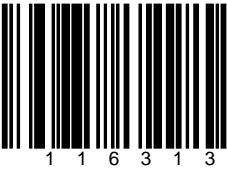
特別キーボードの設定

* 拡張キーコードを送信
の際、拡張 ASCII を使
用する



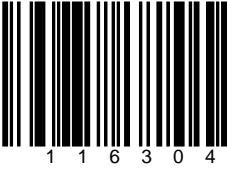
PC キーボードのキー
(F1、F2 等) を送信する
場合、拡張 ASCII キャラ
クタを使う。(詳細につ
いてはセクション M を参
照)

拡張 ASCII キャラクタを
拡張 ASCII として使用す
る



拡張 ASCII コードを Alt
モードで転送する。

* キャラクタ KB 禁止



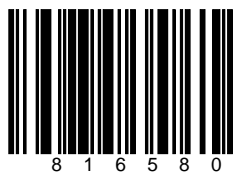
メッセージ KB 禁止



セクション H

インタースキャン・コード・ディレイ

インタースキャン・コード・ディレイ800 μ sec.

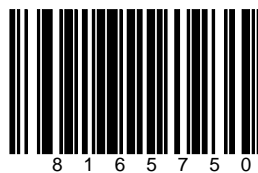


指定された時間は各々の9ビット読取コード間の時間を表しています。



ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。

インタースキャン・コード・ディレイ7.5 msec

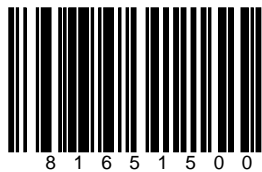


指定された時間は各々の9ビット読取コード間の時間を表しています。



ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。

インタースキャン・コード・ディレイ15 msec

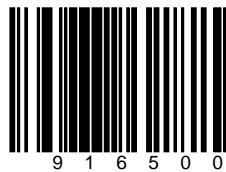


指定された時間は各々の9ビット読取コード間の時間を表しています。



ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。

～ 可変インタースキャン・コード・ディレイ



x ページのマルチ・コード方式を参照。



ASCII (HEX)	ASCII コントロール	拡張キー
00H	Null	Numeric Keypad
01H	SOH	Num Lock
02H	STX	Down
03H	ETX	Numeric Keypad
04H	EOT	Insert
05H	ENQ	Delete
06H	ACK	System Request
07H	BEL	←
08H	BS	→
09H	TAB	Tab
0AH	LF	Caps Lock
0BH	VT	Shift Tab
0CH	FF	Alt
0DH	CR	Enter
0EH	SO	Control
0FH	SI	Up Arrow
10H	DLE	F1
11H	DC1	F2
12H	DC2	F3
13H	DC3	F4
14H	DC4	F5
15H	NAK	F6
16H	SYN	F7
17H	ETB	F8
18H	CAN	F9
19H	EM	F10
1AH	SUB	Home
1BH	ESC	Esc
1CH	FS	Page Up
1DH	GS	Page Down
1EH	RS	Print Screen
1FH	US	End

キーボード	H	12
-------	---	----

セクション H

3151 ターミナル・キーボード

* 3151 ターミナル・
キーボード



OCIA デフォルトを
ロードする



OCIA モード許可

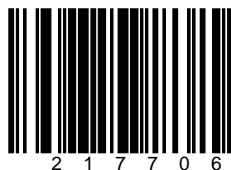


OCIA (**O**ptically **C**oupled
Interface **A**dapter) 通信
が必要な時はこのオプションを選択します。

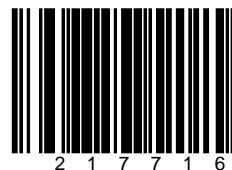


このシリアル・インターフェースは
ホストに同期します。

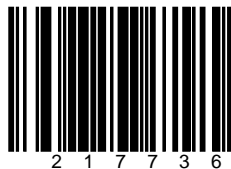
DTS/Siemens 許可



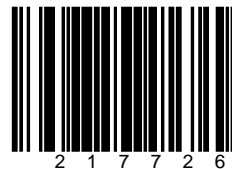
* DTS/Nixdorf 許可



NCR-S 許可



NCR-F 許可



セクション J

ライトペンのパラメータ

ライトペン・モード 許可

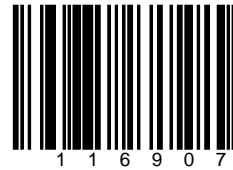


スキャナがライトペンの代わりに使われる場合、このオプションを読み取ります。バーコード・データはすべてライトペン・エミュレーションとなります。

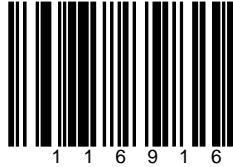
* バー高レベル



スペース高レベル

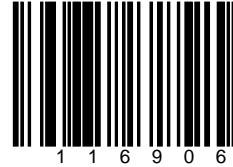


Code 39 として転送する



すべてのバーコードはデコードされ、Code 39 バーコードのデータとして転送されます。

* 読み取られたままに転送する



すべてのバーコードはデコードされ、そのシンボルのデータとして転送されます。

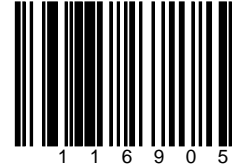
セクション J ライト・ペン/細エレメント・ボーダーの設定

ライトペン・ソースを
ポーリングする



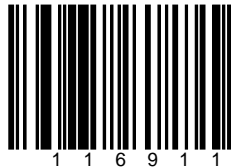
これを選択すると、データ転送前にスキャナはアクティブなソース電圧を待機します。

* ライトペン・ソースを
ポーリングしない



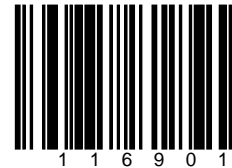
これを選択すると、データ転送前にスキャナはアクティブなソース電圧を待機しません。

ライト・ペン追加
トグルの許可

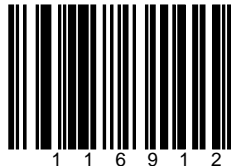


スキャナはビーブ音を鳴らし、デコーダに条件を設定するための追加データ・パルスとともにライトペン・データ・ラインをトグルします。

* ライト・ペン追加
トグルの禁止

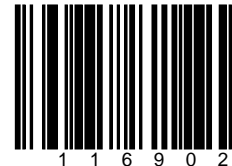


10x 細エレメント・
ボーダー



このオプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 10x ボーダー幅で転送します。

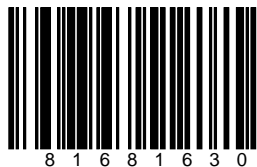
* 50x 細エレメント・
ボーダー



このオプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 50x ボーダー幅で転送します。

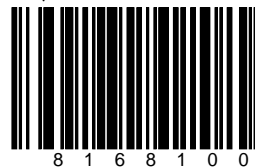
セクション J 細エレメント幅/レーザー・エミュレーションの設定

* 1 ms 細エレメント幅



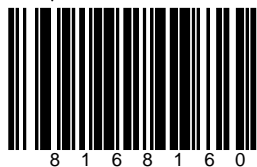
このオプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 1 ms の細エレメント幅で転送します。

60 μ s 細エレメント幅



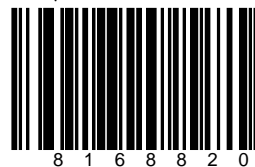
60 μ s の細エレメント幅で転送します。

100 μ s 細エレメント幅



100 μ s の細エレメント幅で転送します。

500 μ s 細エレメント幅



500 μ s の細エレメント幅で転送します。

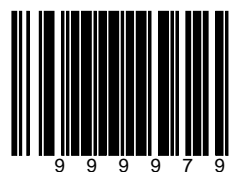
~ 可変の細エレメント幅[†]



最小x-寸法を 6 μ s 毎の増加で設定します。このバーコードを読み取り、セクションM記載の 3 桁コード・バイト・シーケンスを読み取ります。[†]

[†] x ページのマルチ・コード方式を参照してください。

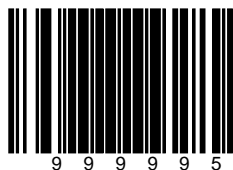
レーザー・エミュレーション



セクション K

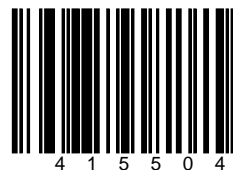
IBM 46xx 設定/IBM ポート

46xx IBM デフォルトを
ロードする



IBM 46xx システムの初期
設定状態のフォーマット
にロードします。

IBM 46xx 通信を許可

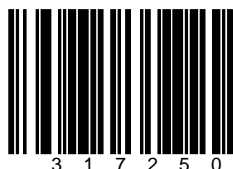


IBM46xx SIOC/RS485 通
信のオプションです。

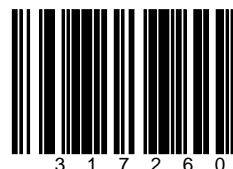


すべてのスキャナ
はこのインター
フェースをサポー
トしていません。
適切なインター
フェース・ボード
が必要です。

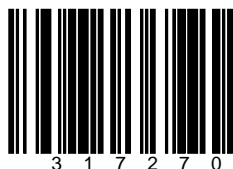
IBM ポート 17B 3687-2
イン・カウンター



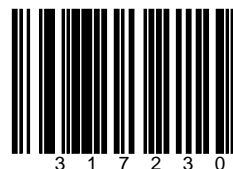
IBM ポート 5B 1520 HH
レーザー



* IBM ポート 9B 4500
CCD HH BCRI.



IBM ポート 9B
4501 CCD HH BCR2



セクション K

IBM 予約コード

IBM 予約コード#1



IBM 予約コード#2



IBM 予約コード#3



IBM 予約コード#5



ユーザーが設定可能なプリフィックス、バーコード桁数、または他の項目等をコード・バイトを使って設定する場合、スキャナは設定モードに入っている必要があります。各種の設定を始める前には必ず「IN/OUT 設定モード」を読取ってください。シングル・コードの設定モードはマルチ・コードのシーケンスには使えません。



例

ユーザーが設定可能なプリフィックス/サフィックス・キャラクタ（セクション E 参照）は、ASCII コードと同等の 3 桁小数を読取ることによって、コード・バイトのバーコードの適切なキャラクタ・ロケーションをスキャナにセーブできます。

アスタリク印（*）をプリフィックスとして付加する

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. IN/OUT 設定モード | （3 回ビーブ音発信） |
| 2. 設定可能なプリフィックス #1 | （1 回ビーブ音発信） |
| 3. コード・バイト 0 | （1 回ビーブ音発信） |
| 4. コード・バイト 4 | （2 回ビーブ音発信） |
| 5. コード・バイト 2 | （3 回ビーブ音発信） |
| 6. IN/OUT 設定モード | （3 回ビーブ音発信） |

コード・バイト	M	2
---------	---	---

セクション M

コード・バイト 0-5

コード・バイト 0



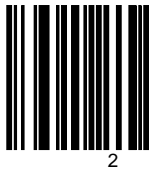
0

コード・バイト 1



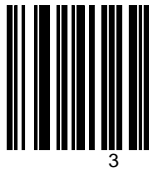
1

コード・バイト 2



2

コード・バイト 3



3

コード・バイト 4



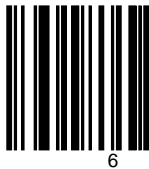
4

コード・バイト 5



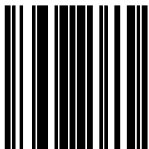
5

コード・バイト 6



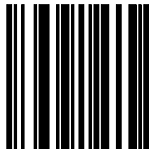
6

コード・バイト 7



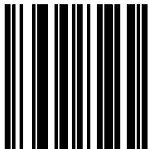
7

コード・バイト 8



8

コード・バイト 9



9

コード・バイト

M

4

セクション M

予約コード

~ 予約コード許可



9 9 9 9 8 8

この設定については Metrologic 社に
連絡ください。

~ 予約コード禁止



9 9 9 9 8 7

セクション M

コード・バイト/コード・タイプ表

コード・バイト	コード・タイプ
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	インターリブド 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15 桁)
094	マトリックス 2 of 5
095	テレペン
096	UK Plessey
098	スタンダード 2 of 5
097	Airline (13 桁)
099	TRI-OPTIC

コード・バイト

M

5

コード・バイト	M	6
---------	---	---

セクション M

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・キーボードと同等
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z

セクション M

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・キーボードと同等
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	\
1D	029	GS	^
1E	030	RS	_
1F	031	US	
20	032	SP	space,blank
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	apostrophe
28	040	(
29	041)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	comma
2D	045	-	minus
2E	046	.	period
2F	047	/	
30	048	0	number zero
31	049	1	number one
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	

コード・バイト

M

7

コード・バイト	M	8
---------	---	---

セクション M

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	
3C	060	<	less than
3D	061	+	
3E	062	>	greater than
3F	063	?	
40	064	@	shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	letter I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	

セクション M

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
4F	079	O	letter O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	
5A	090	Z	
5B	091	[shift K
5C	092	\	shift L
5D	093]	shift M
5E	094	^	↑、shift N
5F	095	_	←、shift O,underscore
60	096	`	accent grave
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	

コード・バイト

M

9

セクション M

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		vertical slash
7D	125	}	alt mode
7E	126	~	(alt mode)
7F	127	DEL	delete,rubout

キー	At 読取コード	PS2 読取コード	3151	接頭/接尾値 Hex = 小数値
↑	75H	48H	63H	80H = 128
↓	72H	50H	60H	81H = 129
→	74H	4DH	6AH	82H = 130
←	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
Right Alt	11H	38H	00H	8AH = 138
Right Ctrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
予約項目	00H	00H	00H	8CH = 140
予約項目	00H	00H	00H	8DH = 141
Numeric Keypad Enter	5AH	1CH	79H	8EH = 142
Numeric Keypad /	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
Numeric +	79H	4EH	00H	9CH = 156

コード・バイト

M

12

セクション M

拡張キー・コード参考表

キー	At 読取コード	PS2 読取コード	3151	接頭/接尾値 Hex = 小数値
Numeric -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
Numeric *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
Left ALT	11H	38H	00H	A1H = 161
Left CTRL	14H	1DH	11H	A2H = 162
Left Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
Right Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	A5H = 165
Tab	0DH	0FH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
Left ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
Left ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
Left CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
Left CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
* Left ALT + 1 character	11H	36H	00H	AEH = 174
* Left CTRL + 1 character	14H	1DH	00H	AFH = 175
* Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send - Make Only			58H	C5H = 197

* 例:

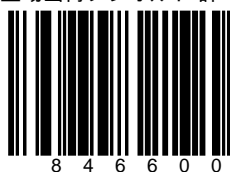
最初の設定プリフィックス = 174

2 番目の設定プリフィックス = 065

スキャナは <left ALT Make> “ A ” <Left ALT Break>を送信します。

Metrologic 社は幾多のスキヤナを OEM 顧客のアプリケーション用に製造しています。OEM スキヤナは Metrologic 社の工場出荷時のデフォルトとは違います。下記のバーコードを読み取ると Metrologic 社のデフォルト設定にリセットされます。

工場出荷デフォルト 許可



このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Metrologic 社の工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

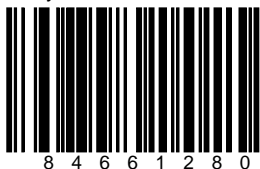
初期設定



セクション N

カスタム・デフォルト

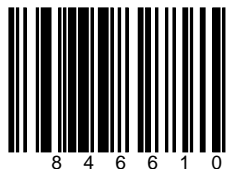
Ruby Verifone デフォルト



8 4 6 6 1 2 8 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Ruby Verifone のデフォルトが有効になります。

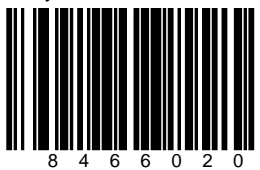
RCH



8 4 6 6 1 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると RCH のデフォルトが有効になります。

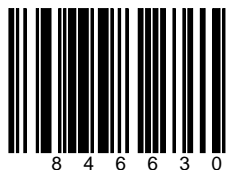
Sanyo



8 4 6 6 0 2 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Sanyo のデフォルトが有効になります。

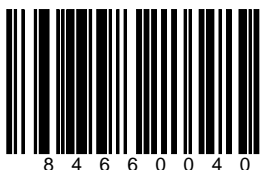
Gilbarco



8 4 6 6 3 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Gilbarco のデフォルトが有効になります。

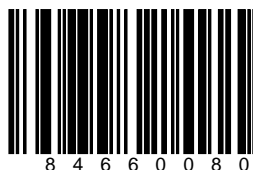
ALT デフォルト



8 4 6 6 0 0 4 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると ALT のデフォルトが有効になります。

MS6750 デフォルト



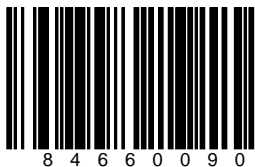
8 4 6 6 0 0 8 0

このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると MS6750 のデフォルトが有効になります。

セクション N

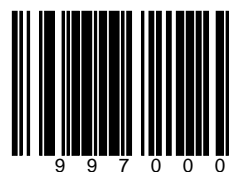
カスタム・デフォルト

ドイツ郵便デフォルト

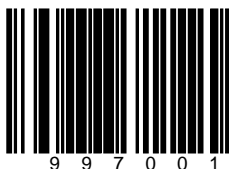


このバーコードを読み取り、
「初期設定」をスキャンするとドイツ郵便デフォルトが有効になります。

カスタム・キーボード
FR1



カスタム・ターミナル
FR1



セクション N

シリアル・プログラム・モード

シリアル・プログラム・モードを使うには、すべてのコマンドが STX (02 Hex) と ETX (03 Hex) で囲まれている必要があります。初期設定を行うには：

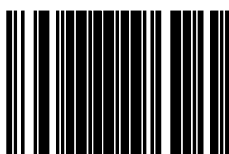
1. シリアル・ポートを通して<STX>999999<ETX>を送信すると、スキャナはシリアル・プログラム・モードになります。読取は一時中止になりスキャナは ACK (06 Hex) 信号で応答します。
2. シリアル・ポートを通して<STX>999998<ETX>を送信すると MetroSelect[®]ガイドにある初期設定のバーコードとなります。スキャナはACK (06 Hex) 信号で応答します。
3. シリアル・ポートを通して<STX>999999<ETX>を送信すると、スキャナはプログラム・モードを終了し、新しい設定をセーブします。スキャナは 3 回ピープ音を鳴動し、ACK (06 Hex) 信号を送信します。

スキャナがコマンドを認識しない場合は、NAK (15 Hex) 信号で応答します。

セクション N

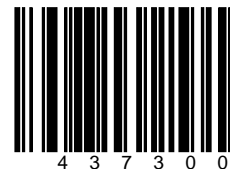
ソフトウェア識別

ソフトウェア番号



この設定を許可すると、スキャナはそのソフトウェア・リビジョンを転送します。

* AUX ポート禁止



AUX ポートおよび二次装置データ・フォーマット

MS7220、MS7320、MS7600、および MS202X

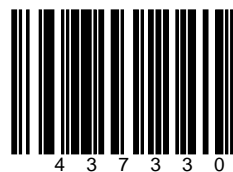
手順 1 に従って、Metrologic スキャナを二次スキャナとして受け入れるように補助ポートを設定します。次に、手順 2 に従って、補助ポートのデータ・フォーマットに一致するように二次スキャナを設定します。

二次スキャナがMetrologicスキャナではない場合、3 ページの「二次スキャナとして非Metrologic RS-232 装置を使用する場合」の手順に従います。

i 補助入力ポートのデータ・フォーマットは、二次スキャナの主出力フォーマットに一致する必要があります。

手順 1: MS7220/7320/7600 上で補助ポートを許可するために次のバーコードを読み取ります。

AUX ポート・データ・
フォーマット



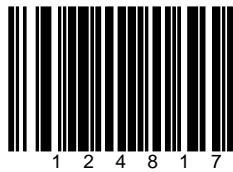
次ページに続く

セクション O AUX ポートおよび二次装置データ・フォーマット

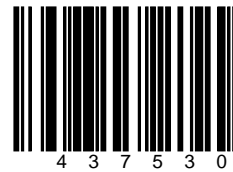
MS7220、MS7320、MS7600、および MS202X

手順 2: 次に、二次スキャナを設定するために次のバーコードを順に読み取ります。

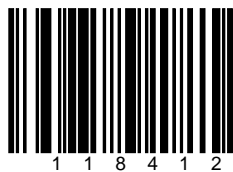
1. AUX 出力許可



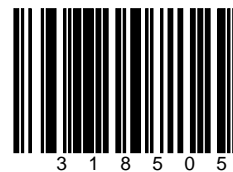
2. 二次スキャナ・データ・フォーマット



3. 通信タイムアウト許可



4. 補助スキャナのピープ音のオフ (オプション)



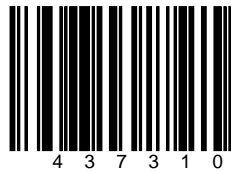
セクション O AUX ポートおよび二次装置データ・フォーマット

MS7220、MS7320、MS7600、および MS202X

二次スキャナとして非 Metrologic RS-232 装置を使用する場合

MS7220/7320/7600/202x 上で補助ポートを許可するために次のバーコードを読み取ります。

AUX ポートの一般的な RS-232 フォーマット



補助入力ポートのデータ・フォーマットは、二次装置の主出力フォーマットに一致する必要があります。二次装置は、RTS/CTS ハンドシェークに対応し、データ上に CR (ASCII 0DH) ターミネータを持つ必要があります。



AUX ポートの一般的な RS-232 フォーマットのデフォルト設定は次のとおりです。

- 38400 ボー
- 7 データ・ビット
- 2 ストップ・ビット
- スペース・パリティ

これらの設定を変更する場合は、セクション O (5~8 ページ) を参照してください。

セクション O 追加補助ポート・データ・フォーマット



補助入力ポートのデータ・フォーマットは、二次装置の主出力フォーマットに一致する必要があります。

AUX ポートでの UPC サブ
ルメント・データ・フォー
マットの許可



AUX ポートでのコード選択
データ・フォーマットの許
可



AUX ポートでの TECH 7、
8 データ・フォーマットの
許可



予約 2 データ・フォーマッ
トによる AUX ポート許可



予約 3 データ・フォーマッ
トによる AUX ポート許可



予約 1 データ・フォーマッ
トによる AUX ポート許可



セクション O 追加補助ポート・データ・フォーマット

AUX ポートでの Stratos デ
コード・データ・フォー
マット許可



4 3 7 3 2 0

補助ポート・コントロール

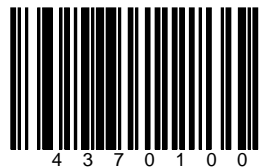
O

5

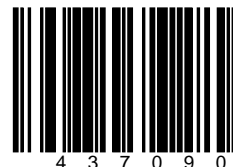
セクション O

補助ポート・ボーレート

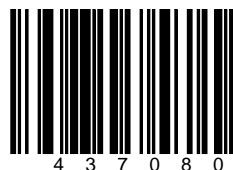
AUX 115200 ボーレート



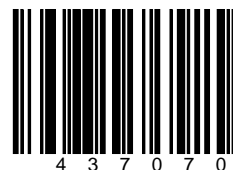
AUX 57600 ボーレート



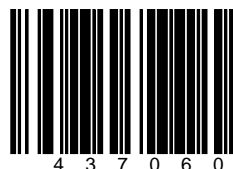
AUX 38400 ボーレート



AUX 19200 ボーレート



AUX 14400 ボーレート



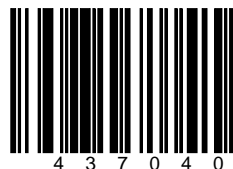
AUX 9600 ボーレート



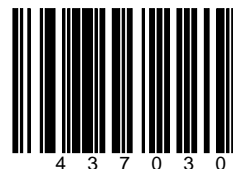
セクション O

補助ポート・ボーレート

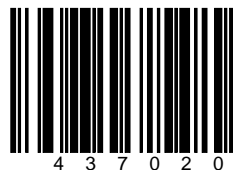
AUX 4800 ボーレート



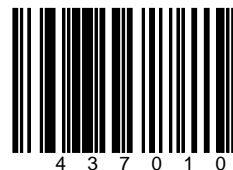
AUX 2400 ボーレート



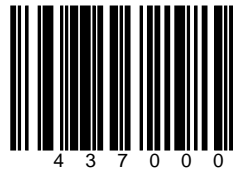
AUX 1200 ボーレート



AUX 600 ボーレート



AUX 300 ボーレート



補助ポート・コントロール

O 7

Auxiliary Port Controls

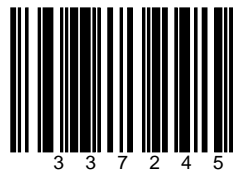
○

8

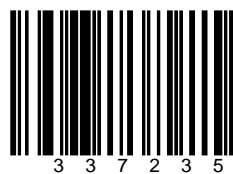
セクション O

補助ポート・パリティ

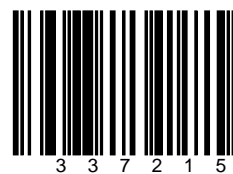
AUX パリティなし



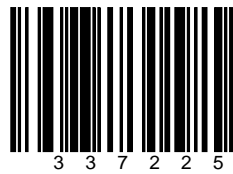
AUX マーク・パリティ



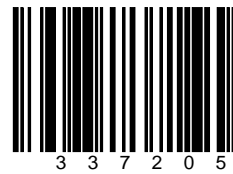
* AUX スペース・パリティ



AUX 偶数パリティ



AUX 奇数パリティ



セクション O 補助ポート・ストップ・ビット/データ・ビット

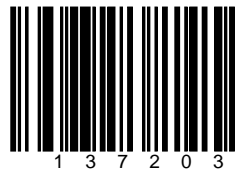
AUX 1 ストップ・ビット



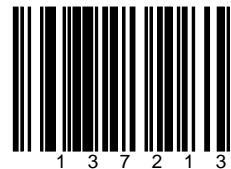
* AUX 2 ストップ・ビット



* AUX 7 データ・ビット



AUX 8 データ・ビット



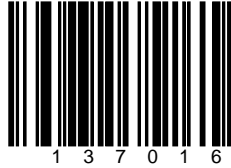
補助ポート・コントロール

O 9

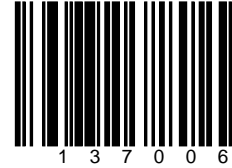
セクション O

補助 RTS/CTS およびモード 7

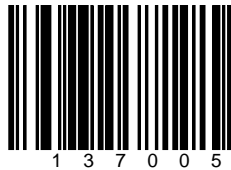
* AUX RTS/CTS ハンド
シェーク許可



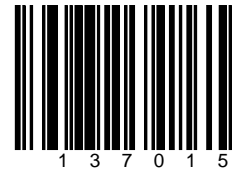
AUX RTS/CTS ハンド
シェーク禁止



メッセージ AUX
RTS/CTS



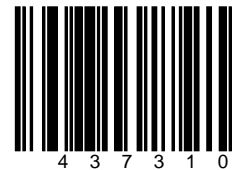
* キャラクタ AUX
RTS/CTS



AUX ポート・モード 7
許可



AUX ポート・モード 7
禁止

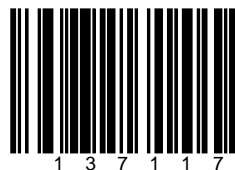


モード 7 は、AUX ポート
RTS/CTS ハンドシェーキ
ングが無効な場合に、接
頭/接尾コードの受信を可
能にします。

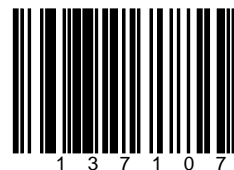
セクション O

補助 D/E、F/L、および M/O

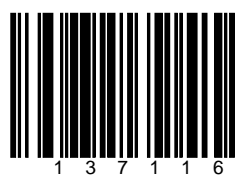
AUX「D/E」コマンド
許可



* AUX「D/E」コマンド
禁止



AUX「F/L」コマンド許可



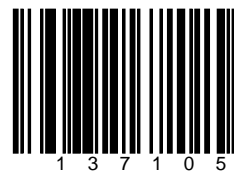
* AUX「F/L」コマンド
禁止



AUX「M/O」コマンド
許可



* AUX「M/O」コマンド
禁止



Auxiliary Port Controls

○

12

セクション ○

補助 XON/XOFF および ACK/NAK

* AUX XON/XOFF
ハンドシェーク許可



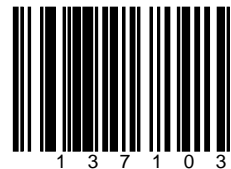
AUX XON/XOFF
ハンドシェーク禁止



* AUX ACK/NAK
コマンド許可



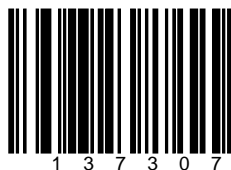
AUX ACK/NAK
コマンド禁止



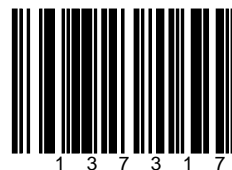
セクション O

補助 CTS/RTS ポラリティ

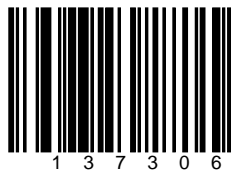
* 標準 AUX CTS
ポラリティ



反転 AUX CTS
ポラリティ



* 標準 AUX RTS
ポラリティ

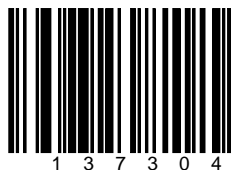


反転 AUX RTS
ポラリティ



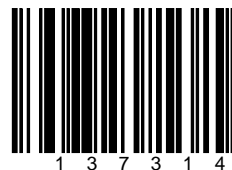
補助同一シンボル・タイムアウト


* AUX が同一シンボル・
タイムアウトを持つ



この設定は、補助スキャナが同一のシンボル・タイムアウトをマスタ・スキャナよりも高速に読取る（または繰り返す）場合に、マスタ内の同一シンボル・タイムアウトをスキップします。

AUX 同一シンボル・タイムアウトなし

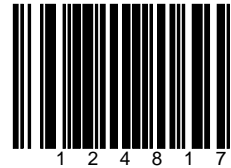


 Metrologic は、AUX 同一シンボル・タイムアウト設定を禁止した場合に、補助スキャナのビープ音をオフにすることを推奨しています。

セクション O 主出力ポート補助データ・フォーマット

スキャナを別のスキャナの補助入力に対する二次スキャナとして使用する場合、出力データでは次のいずれかのフォーマットが可能です。

予約コード 32



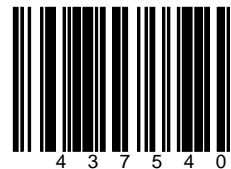
これにより、HoloTrak デコード・データ・フォーマットを使用して、二次スキャナ内の予約コード 32 をすばやく設定できます。

i このコードは、MS6720 で使用するべきではありません。

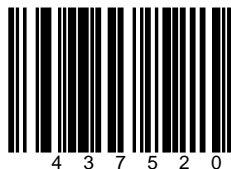
* HoloTrak デコード出力
AUX データ・フォーマット



UPC サプリメント出力
AUX データ・フォーマット



Stratos デコード出力 AUX
データ・フォーマット



コード選択出力 AUX データ・フォーマット



セクション O 主出力ポート補助データ・フォーマット

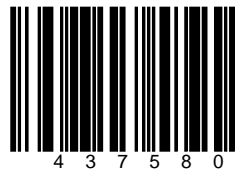
TECH 7 & 8 出力 AUX
データ・フォーマット



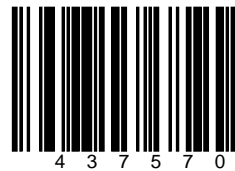
予約 1 出力 AUX データ・
フォーマット



予約 2 出力 AUX データ・
フォーマット



予約 3 出力 AUX データ・
フォーマット



補助ポート・コントロール

O

15

セクション O

インター・キャラクタ・ディレー

AUX ポート・インター・
キャラクタ遅延なし



* 1 msec AUX ポート・
インター・キャラク
タ・ディレー



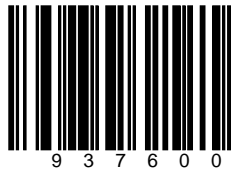
10 msec AUX ポート・
インター・キャラクタ・
ディレー



25 msec AUX ポート・
インター・キャラクタ・
ディレー



~ 可変 AUX ポート・イ
ンター・キャラクタ・
ディレー



可変 AUX ポート・インター・キャラクタ・ディレー・バー
コードの後、001~255 ミリ秒の範囲のコード・バイトから
成る 3 つのキャラクタ・シーケンスを読取ることにより、
補助ポートから送信されるキャラクタ間のディレーを 1 ミ
リ秒毎の増分で設定できます。

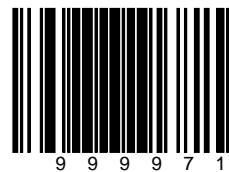
x ページの マルチ・コード方式を参照してください。

最高速 USB 許可

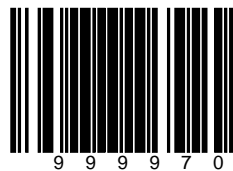


NOVRAM 内のスキャナ・
シリアル番号をエンコード
することを可能にします。

最高速 USB デフォルト



統合最高速 USB デフォルト
のロード



USB

P 1



セクション P

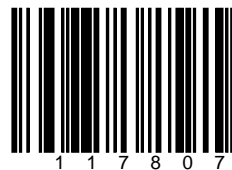
最高速 USB

次のコードは、**最高速 USB** デフォルトのバーコードを読み取っていない場合に使用できます。

USB IBM ID 許可



USB IBM ID 禁止



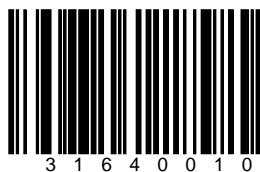
USB 出力の RS232



標準の USB 出力

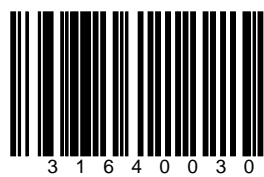


スキャナ 4A00h 平台型

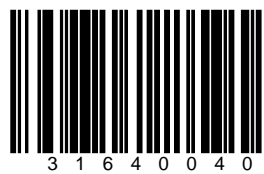


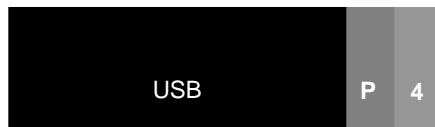
次のコードは、**最高速 USB** デフォルトのバーコードを読み取っていない場合に使用できます。

スキャナ 4B00h
ハンドヘルド



4A00h/6E00h 卓上スキャナ
/スケール

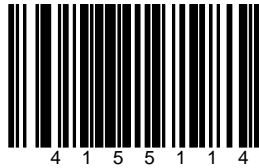




セクション P

低速 USB

低速 USB 許可



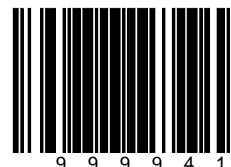
4 1 5 5 1 1 4

低速外部 USB デフォルト
のロード



9 9 9 9 7 8

低速内部 USB デフォルト
のロード

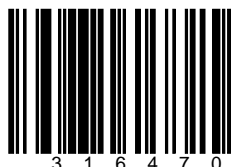


9 9 9 9 4 1



次のコードは、内部低速 USB インターフェースと特定のソフトウェア・バージョンを備えるスキャナにのみ適用されます。これらのバーコードの使用および制限に関する詳細を Metrologic 担当者に連絡してください。

POS USB モード



3 1 6 4 7 0

HID-キーボード・モード

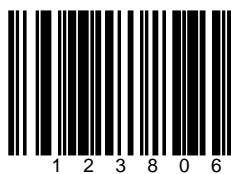


3 1 6 4 0 0

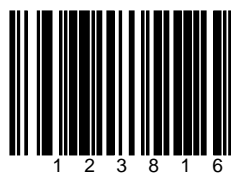
次のバーコードは、IS3480 および MS3480 のみで固有に使用されます。

ボタン・モード

* ボタン・クリック・
パターン切替モード

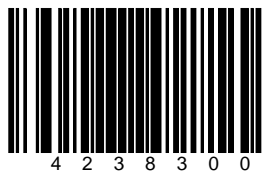


ボタン保持パターン
切替モード

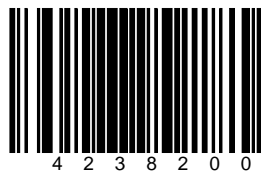


ボタン・クリック・ディレー

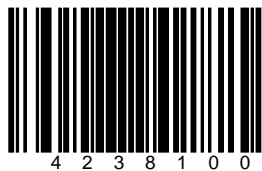
15 秒タイム・アウト



10 秒タイム・アウト



* 5 秒タイム・アウト



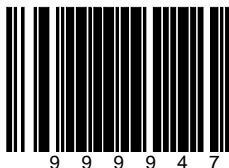
セクション R

IS3480 / MS3480

次のバーコードは、IS3480 および MS3480 のみで固有に使用されます。

一次読取パターン

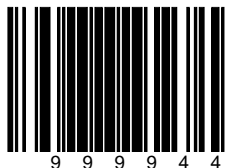
* 一次 Omni



このバーコードは、全方向の読取について一次パターンを全読取ラインに設定します。

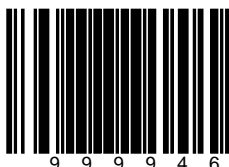
二次読取パターン

二次 Omni



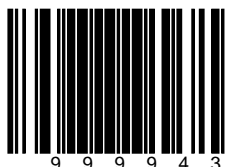
このバーコードは、全方向の読取について二次パターンを全読取ラインに設定します。

一次ラスタ



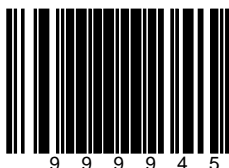
このバーコードは、一次パターンを水平方向のラスタに設定します。

二次ラスタ



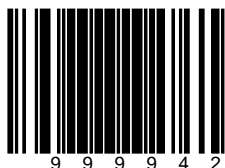
このバーコードは、二次パターンを水平方向のラスタに設定します。

一次シングル・ライン



このバーコードは、メニュー読取のためのシングル・ラインに一次パターンを設定します。

二次シングル・ライン

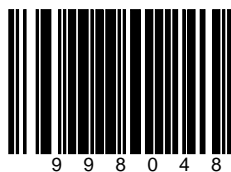


このバーコードは、メニュー読取のためのシングル・ラインに二次パターンを設定します。

次のバーコードは、IS3480 および MS3480 のみで固有に使用されます。

スイート・スポット・モード

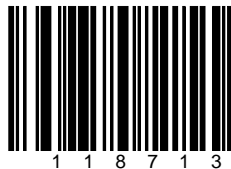
スイート・スポット・
モード許可



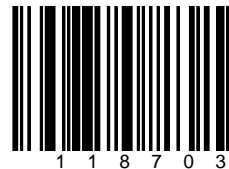
スイート・スポット・モードは、バーコード・タイプごとに読取率が最大になるポイント（「スイートスポット」）がどこにあるかを決定するために使用します。スイート・スポット・モードの詳細については、『IS3480 インストール/ユーザー・ガイド』（MLPN 00-02026）を参照してください。

CodeGate®

* CodeGate 許可

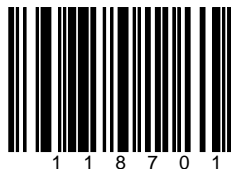


CodeGate 禁止



フィールド深度

* 標準フィールド深度



縮小フィールド深度



IS3480 / MS3480	R	4
-----------------	---	---

セクション R

IS3480 / MS3480

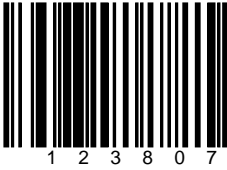
次のバーコードは、IS3480 および MS3480 のみで固有に使用されます。

IR アクティベート

IR アクティベート



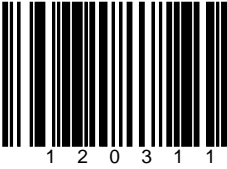
* IR アクティベート禁止



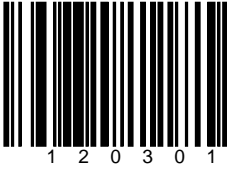
TTL RS232

次のバーコードは、TTL RS232 Quantum シリーズ (IS/MS3x80-102) でのみ有効です。

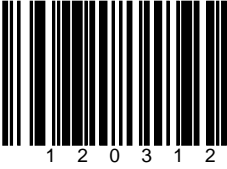
TTL RS232 許可



TTL RS232 禁止

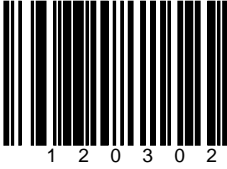


反転 TTL RxD および TxD



TTL RxD および TxD のピンが 0V でアイドルになります。

標準 TTL RxD および TxD



TTL RxD および TxD のピンが 5V でアイドルになります。

2004年10月

米国発行



00 - 02407E